

地域防災力アンケート結果 (湖北圏域版)

滋賀県土木交通部流域治水政策室

留意事項

- 1 . 数値データは、県全体と湖北圏域を並記し、
グラフは、湖北圏域の状況を表示しています。
- 2 . 現在最終集計中であり、数値については確定
したものではありません。

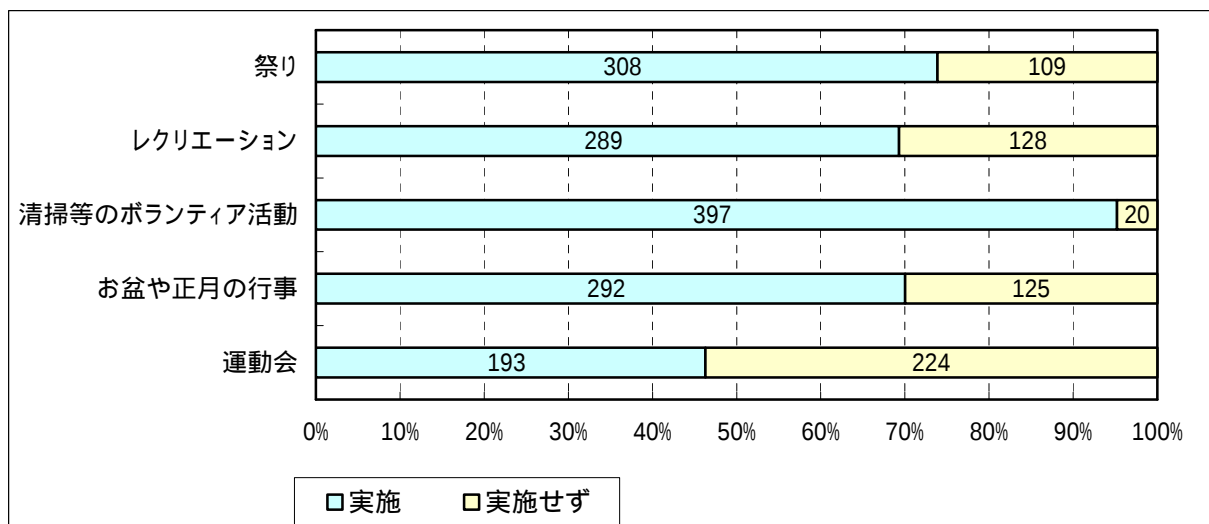
地域の状況について

問 1 あなたの自治会への加入世帯数を記入願います。

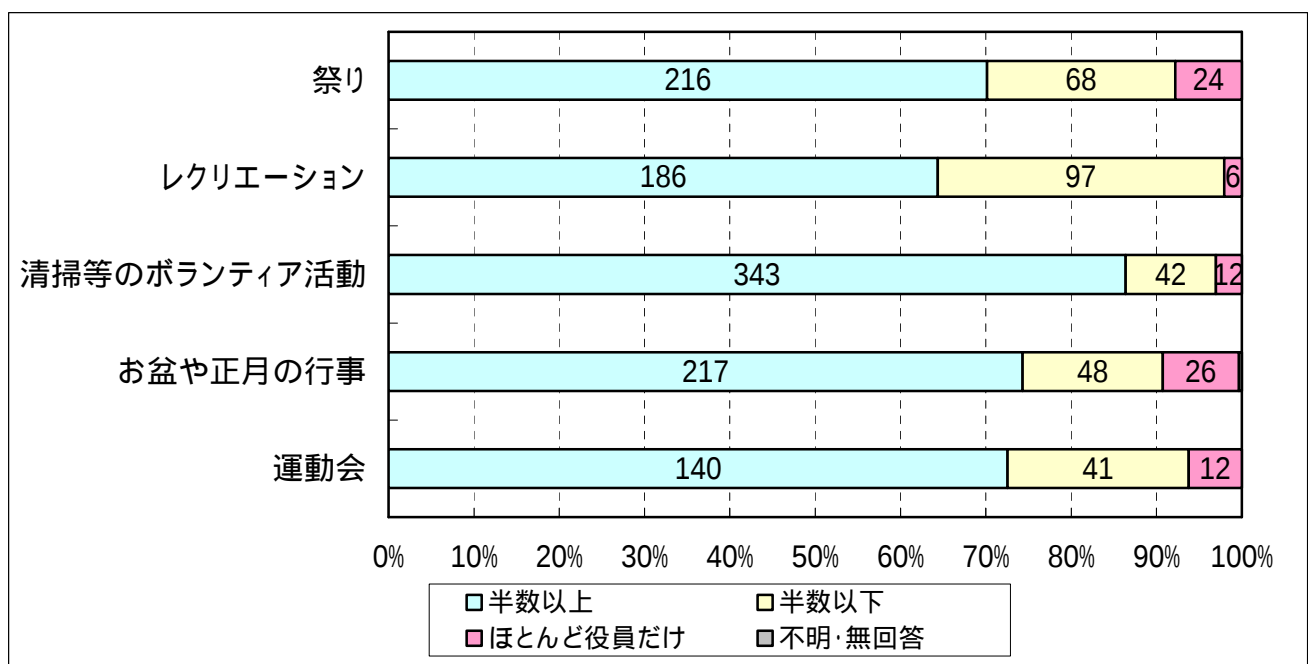
問 2 次の行事のうち、あなたの自治会で実施されている行事について住民の参加状況はどの程度ですか。(実施されている行事に○をつけ、参加状況にも○を付けてください)

多くの自治会でボランティア活動が実施されている。また、どの行事についても6割以上の自治会で半数以上の住民が参加している。

(実施の状況)



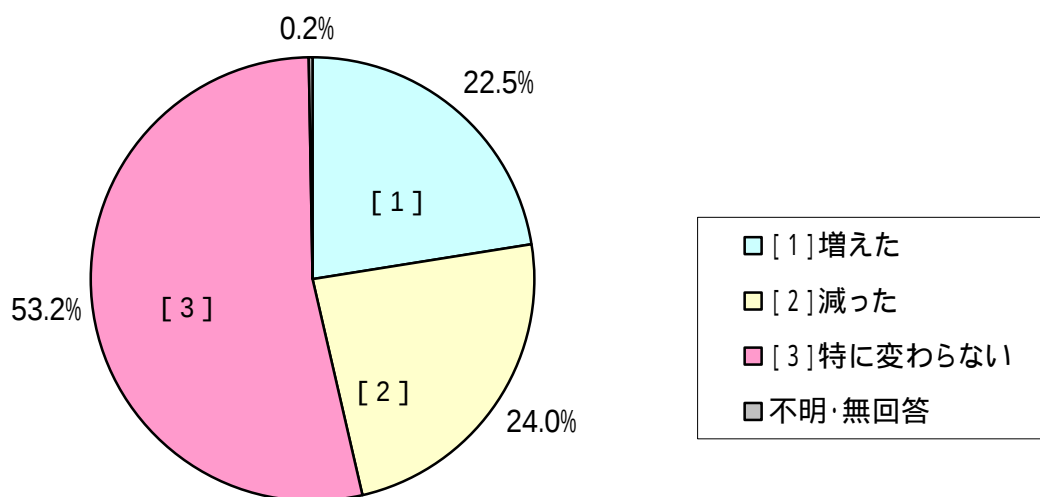
(住民参加の状況)



問 3 あなたの自治会では、昔(10年程度前)と比べて地域で実施される行事は増えましたか。それとも減りましたか。ひとつ○をしてください。

10年前と比較して、地域で実施される行事は「変化がない」と回答した自治会が最も多く53.2%、次いで「減った」自治会が24.0%である。

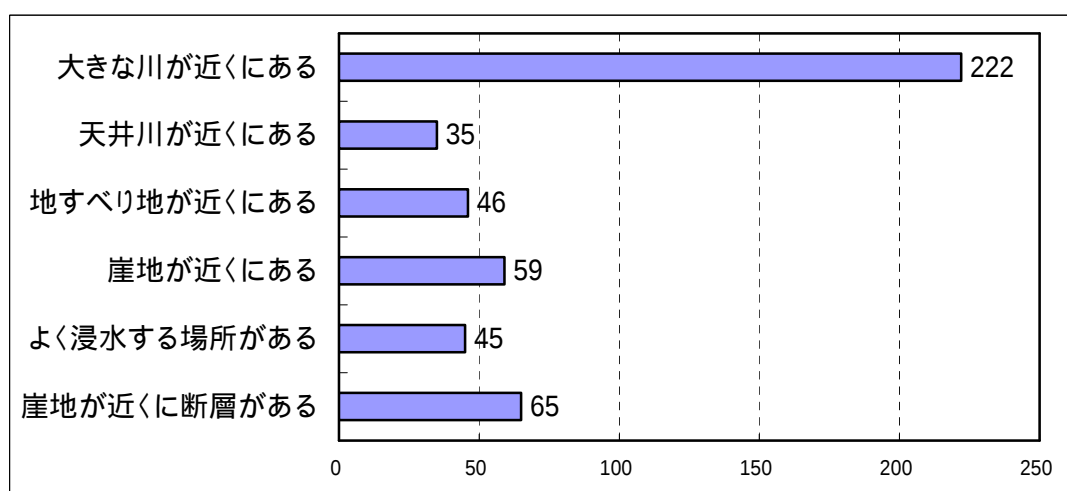
項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 増えた	760	30.6%	94	22.5%
2. 減った	460	18.5%	100	24.0%
3. 特に変わらない	1209	48.7%	222	53.2%
不明・無回答	55	2.2%	1	0.2%
回答数	2484	100.0%	417	100.0%



問 4 あなたの自治会のある地域の身近な地形についてあてはまるものすべてに○をしてください。

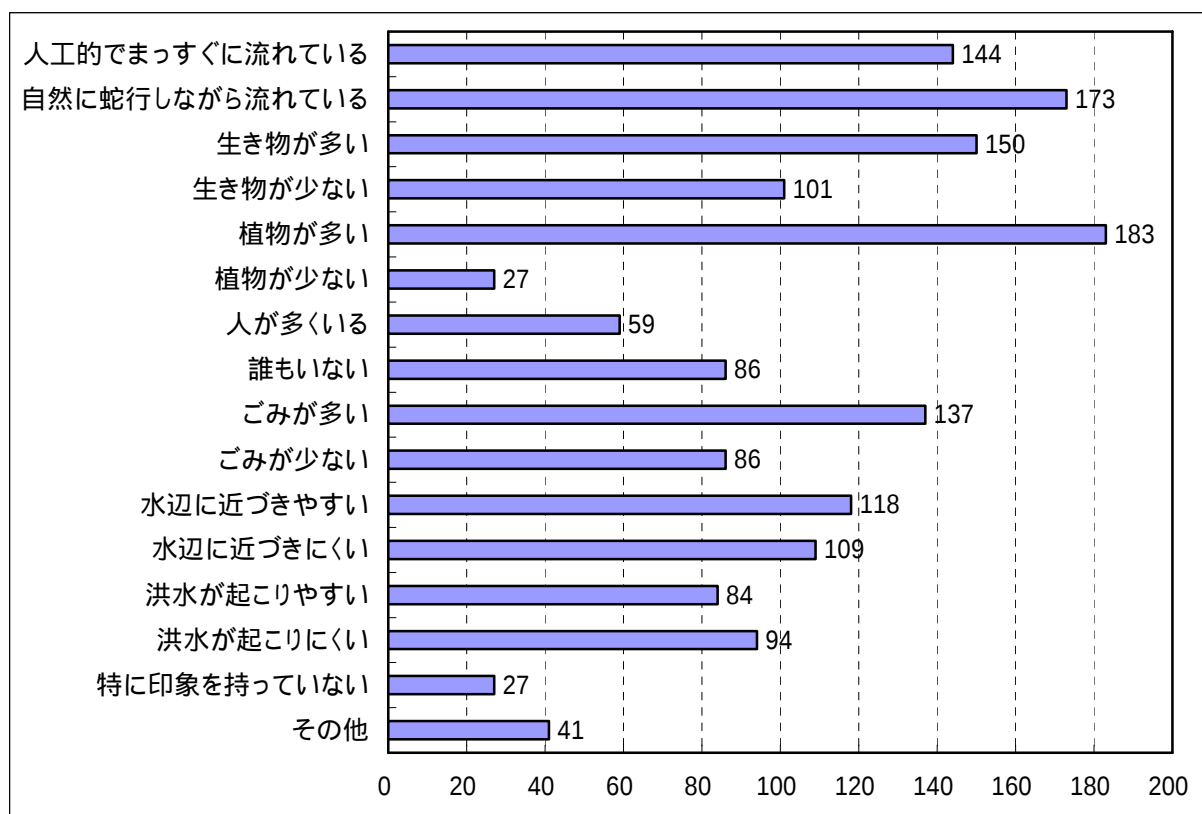
大きな川が近くにあると回答した自治会が全体の約 5 割(47.0%)である。

項 目	県全体	湖北圏域
	人数	人数
1. 大きな川が近くにある	1160	222
2. 天井川が近くにある(川底が地盤より高い川)	199	35
3. 地滑り地が近くにある	255	46
4. ^{ガケチ} 崖地が近くにある	368	59
5. よく浸水する場所がある	244	45
6. 近くに断層がある	435	65



問5 あなたの自治会のある地域の身近な川について、あてはまるものすべてに○をしてください。

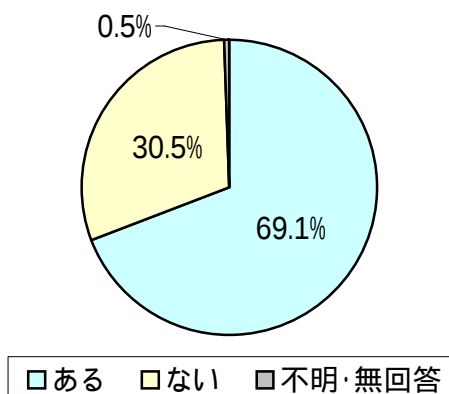
「植物が多い」と回答した自治会が最も多く自治会数の43.9%である。川の形状については、「人工的でまっすぐ流れている」(34.5%)より「自然に蛇行しながら流れている」(41.5%)が多い。



問 6 あなたの自治会には住民による自主的な防災活動が組織的に行われることを目的とした自主的な組織（以下「自主防災組織」）がありますか。ひとつ○をしてください。

組織率は県全体よりやや高く 69.1%である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. ある	1651	66.5%	288	69.1%
2. ない	826	33.3%	127	30.5%
不明・無回答	7	0.2%	2	0.5%
回答数	2484	100.0%	417	100.0%

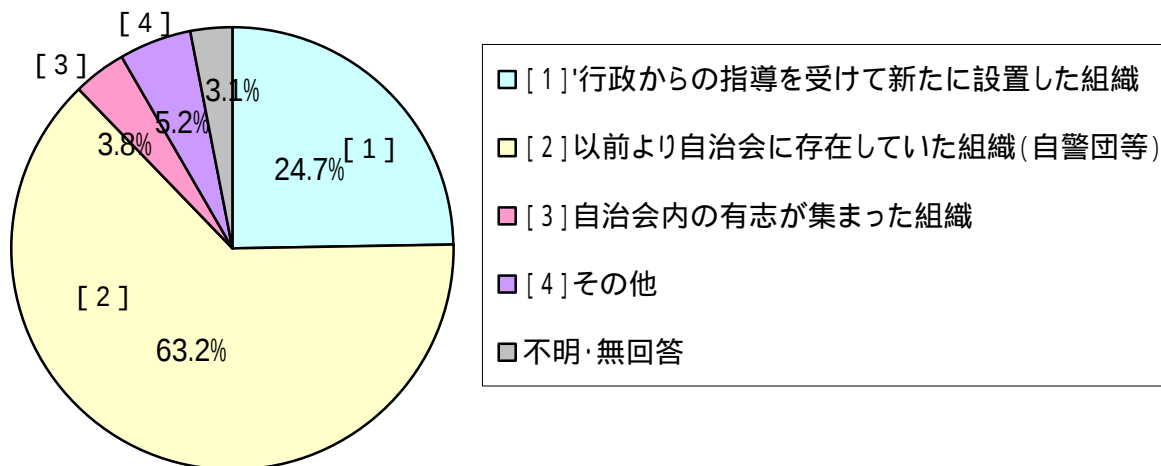


問 7 問 6 の質問に「1. ある」と答えた方に伺います。

自主防災組織とはどのような組織ですか。ひとつ○をしてください。

6割を超える自治会の自主防災組織が「以前より自治会に存在していた組織」である。
また、「行政からの指導を受けて新たに設置した組織」が 24.7%ある。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 行政からの指導を受けて新たに設置した組織	612	37.1%	71	24.7%
2. 以前より自治会に存在していた組織（自警団等）	791	47.9%	182	63.2%
3. 自治会内の有志が集まった組織	105	6.4%	11	3.8%
4. その他	87	5.3%	15	5.2%
不明・無回答	56	3.3%	9	3.1%
回答数	1651	100.0%	288	100.0%

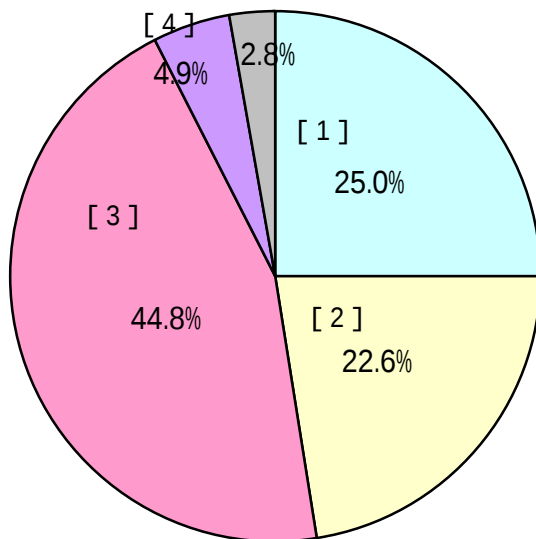


問 8 問 6 の質問に「1. ある」と答えた方に伺います。

自主防災組織の役員はどのような方ですか。ひとつ○をしてください。

「自治会役員とは別に自主防災組織専任の役員が就任」している組織は全体の 22.6%である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1.自治会役員が全ての役員を兼務	581	35.2%	72	25.0%
2.自治会とは別の専任役員が就任	281	17.0%	65	22.6%
3.自治会役員と専任役員が混在	680	41.2%	129	44.8%
4.その他	69	4.2%	14	4.9%
不明・無回答	40	2.4%	8	2.8%
回答数	1651	100.0%	288	100.0%



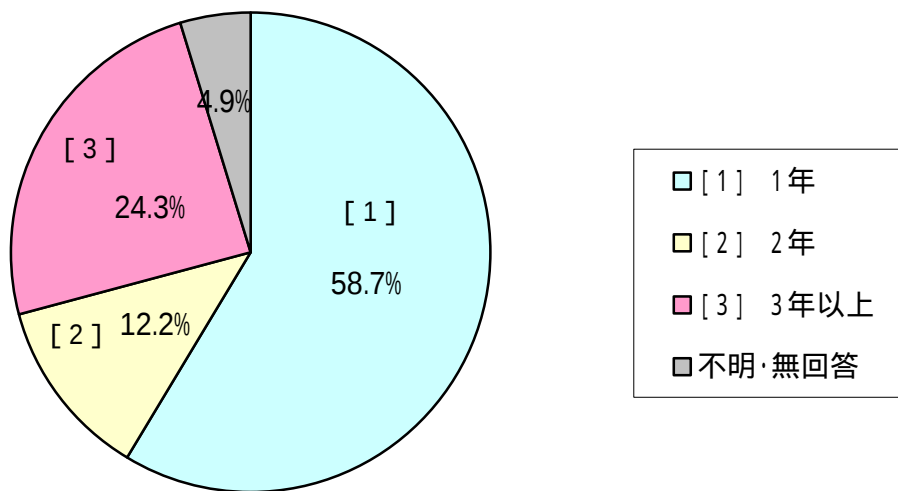
- [1] 自治会役員が全ての役員を兼務
- [2] 自治会とは別の専任役員が就任
- [3] 自治会役員と専任役員が混在
- [4] その他
- 不明・無回答

問 9 問 6 の質問に「1. ある」と答えた方に伺います。

自主防災組織の役員の任期は何年ですか。ひとつ○をしてください。

自主防災組織の役員の任期が「1年」の自治会が58.7%である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 1 年	936	56.7%	169	58.7%
2. 2 年	333	20.2%	35	12.2%
3. 3 年以上	310	18.8%	70	24.3%
不明・無回答	72	4.3%	14	4.9%
回答数	1651	100.0%	288	100.0%

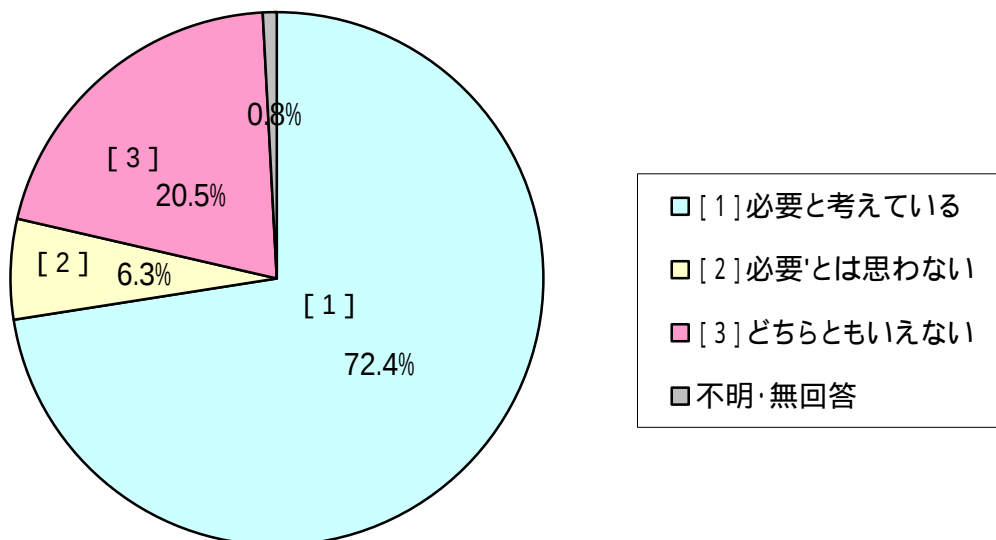


問 10 問 6 の質問に「2. ない」と答えた方に伺います。

今後、地域に自主防災組織は必要と考えますか。ひとつ○をしてください。

自主防災組織が組織されていない自治会の 72.4%が「自主防災組織は必要」と回答している。

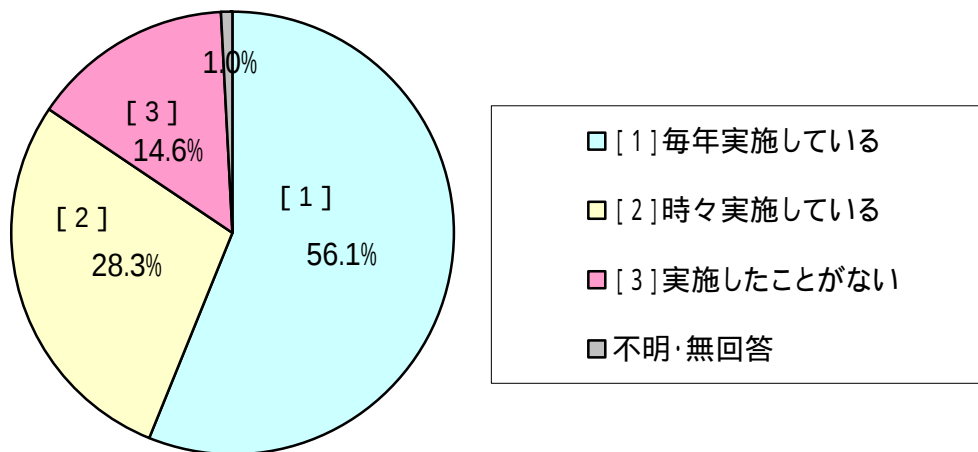
項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 必要と考えている	563	68.2%	92	72.4%
2. 必要とは思わない	41	5.0%	8	6.3%
3. どちらともいえない	193	23.4%	26	20.5%
不明・無回答	29	3.4%	1	0.8%
回答数	826	100.0%	127	100.0%



問 11 あなたの自治会では防災訓練を実施したことはありますか。ひとつ○をしてください。

56.1%の自治会において、防災訓練を「毎年実施している」と回答している。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 毎年実施している	1131	45.5%	234	56.1%
2. 時々実施している	696	28.0%	118	28.3%
3. 実施したことがない	614	24.7%	61	14.6%
不明・無回答	43	1.8%	4	1.0%
回答数	2484	100.0%	417	100.0%

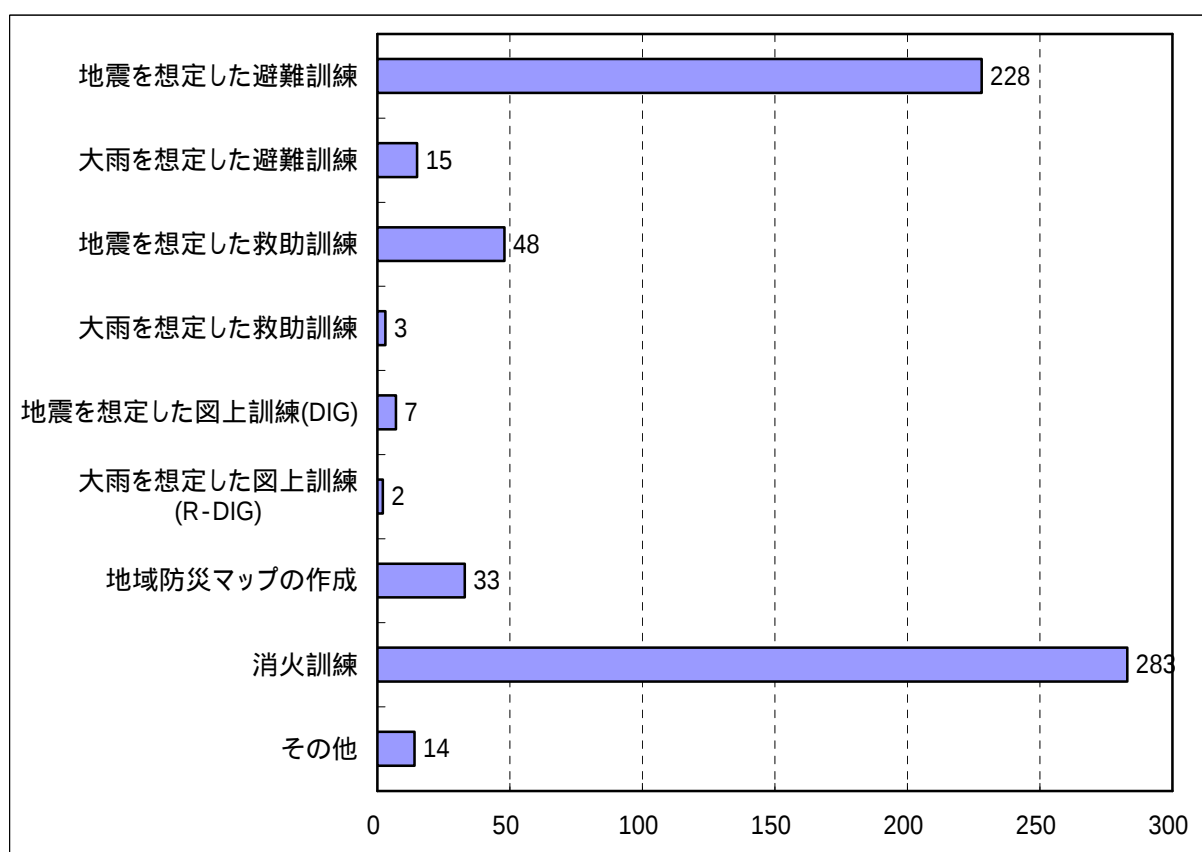


問 12 問 11 の質問に「1. 毎年実施、2. 時々実施」と答えた方に伺います。

訓練の内容はどのようなものですか。いくつでも○をしてください。

防災訓練を実施している自治会の 80.4%が「消火訓練」を実施していると回答しており、続いて「地震を想定した避難訓練」を実施している自治会が 64.8%であった。(回答数 352)

項 目	県全体	湖北圏域
1. 地震を想定した避難訓練	793	228
2. 大雨を想定した避難訓練	70	15
3. 地震を想定した救助訓練	313	48
4. 大雨を想定した救助訓練	21	3
5. 地震を想定した図上訓練(DIG)	128	7
6. 大雨を想定した図上訓練(R-DIG)	19	2
7. 地域防災マップの作成	275	33
8. 消火訓練	1591	283
9. その他	95	14

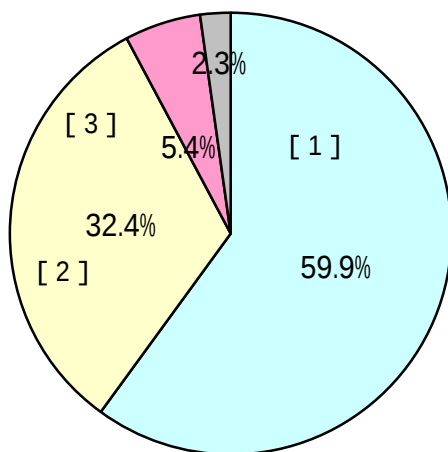


問 13 問 11 の質問に「1. 毎年実施、2. 時々実施」と答えた方に伺います。

訓練には、どれくらい住民の参加がありますか。ひとつ〇をしてください。

防災訓練に「住民の半数以上が出席している」自治会の(本設問の回答数に対する)割合は 59.9% である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 住民の半数以上の参加がある	802	43.9%	211	59.9%
2. 住民の参加は半数以下である	705	38.6%	114	32.4%
3. ほとんど役員だけの参加である	281	15.4%	19	5.4%
不明・無回答	39	2.1%	8	2.3%
回答数	1827	100.0%	352	100.0%

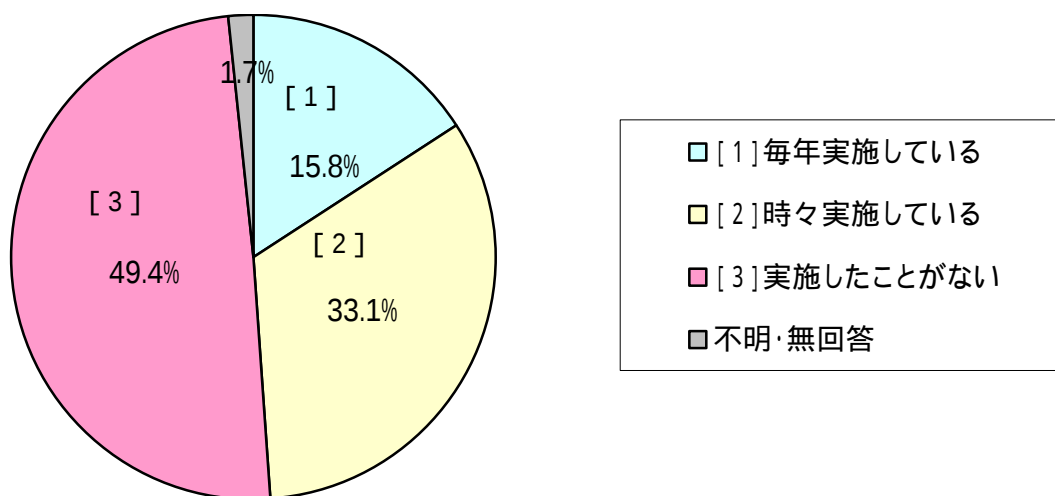


- [1] 住民の半数以上の参加がある
- [2] 住民の参加は半数以下である
- [3] ほとんど役員だけの参加である
- 不明・無回答

問 14 あなたの自治会では防災に関する研修会や学習会など実施したことはありますか。ひとつ○をしてください。

防災に関する研修会や学習会を「毎年・時々実施している」自治会が約半数（48.9％）である。

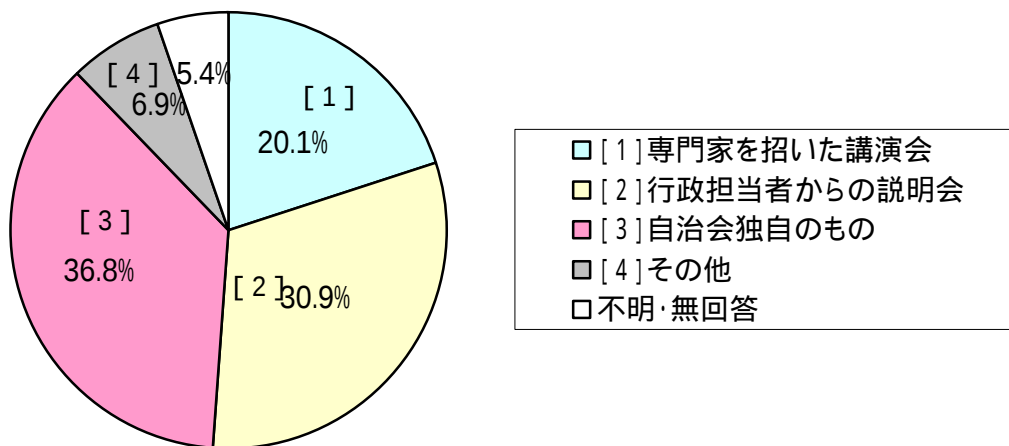
項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 毎年実施している	432	17.4%	66	15.8%
2. 時々実施している	771	31.0%	138	33.1%
3. 実施したことがない	1226	49.4%	206	49.4%
不明・無回答	55	2.2%	7	1.7%
回答数	2484	100.0%	417	100.0%



問 15 問 14 の質問に「1. 毎年実施、2. 時々実施」と答えた方に伺います。
 研修の内容はどのようなものですか。ひとつ○をしてください。

防災に関する研修会・学習会の内容は、「自治会独自のもの」が最も多く、36.8%となっている。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 専門家を招いた講演会	238	19.8%	41	20.1%
2. 行政担当者からの説明会	535	44.5%	63	30.9%
3. 自治会独自のもの	278	23.1%	75	36.8%
4. その他	76	6.3%	14	6.9%
5. 不明、無回答	76	6.3%	11	5.4%
回答数	1203	100.0%	204	100.0%

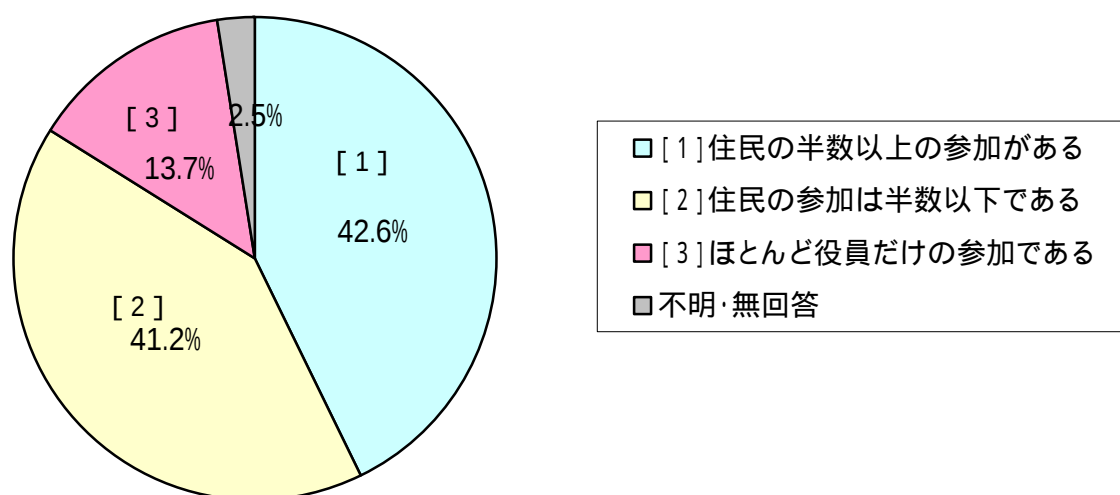


問 16 問 14 の質問に「1. 毎年実施、2. 時々実施」と答えた方に伺います。

研修には、どれくらいの参加がありますか。ひとつ○をしてください。

防災に関する研修会・学習会を実施している自治会のうち、「住民の半数以上の参加がある」自治会は 42.6%である。

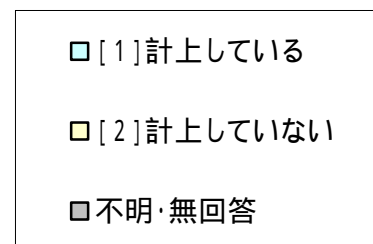
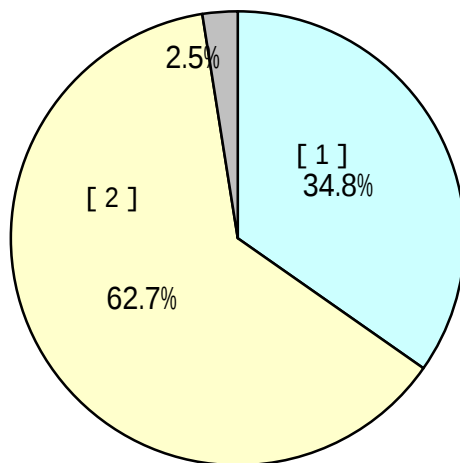
項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 住民の半数以上の参加がある	377	31.3%	87	42.6%
2. 住民の参加は半数以下である	542	45.1%	84	41.2%
3. ほとんど役員だけの参加である	255	21.2%	28	13.7%
不明・無回答	29	2.4%	5	2.5%
回答数	1203	100.0%	204	100.0%



問 17 あなたの自治会では防災活動(訓練等)を行うため、予算を計上していますか。ひとつ○をしてください。

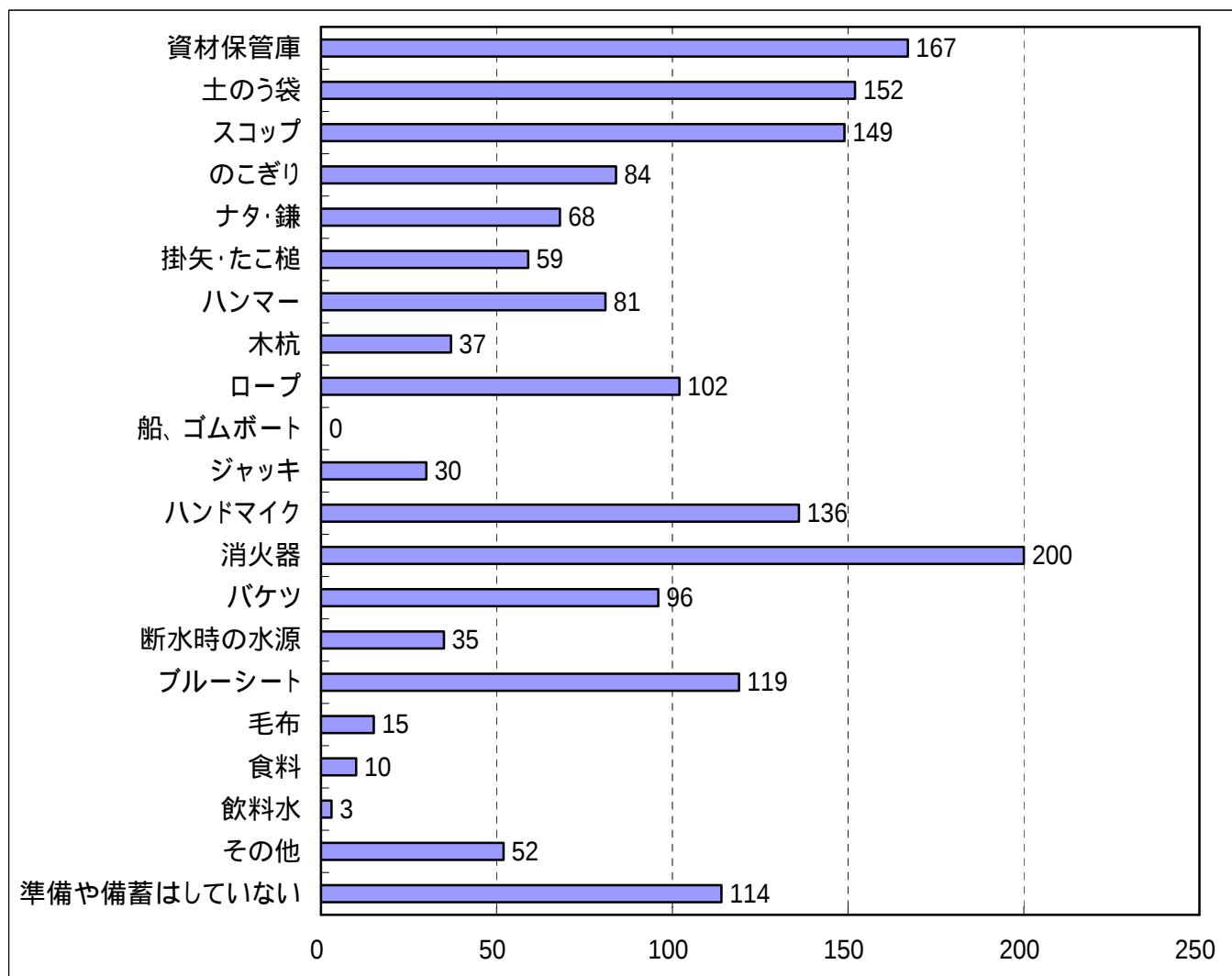
防災活動を行うために予算を「計上している」自治会は 34.8%である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 計上している	562	46.7%	71	34.8%
2. 計上していない	620	51.5%	128	62.7%
不明・無回答	21	1.8%	5	2.5%
回答数	1203	100.0%	204	100.0%



問 18 あなたの自治会では防災用の資機材の整備や、非常時のための備蓄をされていますか。整備、備蓄されているものにすべて○をしてください。

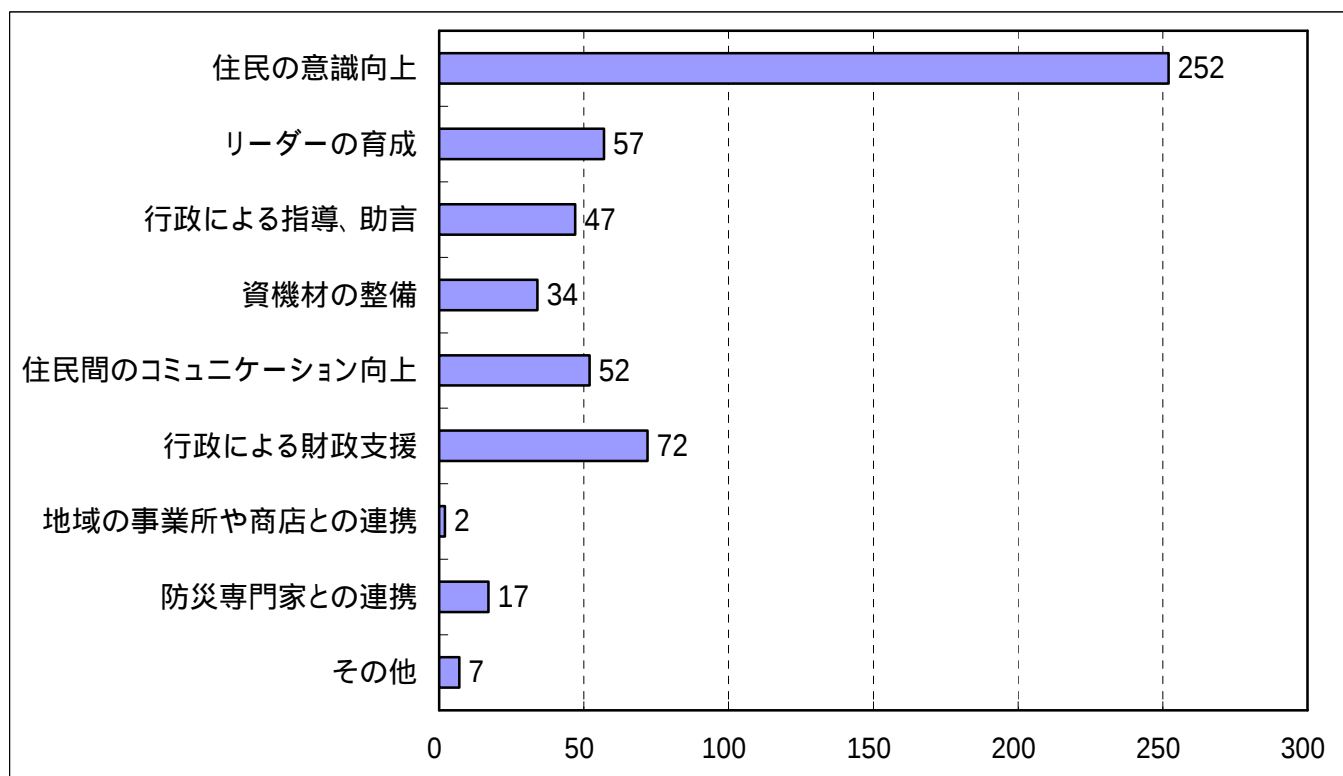
整備、備蓄されているもので最も多いのは「消火器」で、48.0%の自治会が持っている。次いで、「資材保管庫」「土のう袋」「スコップ」の順で多い。



問19 あなたの自治会の防災力を高めるためには、何が一番必要だと考えますか。ひとつ○をしてください。

60.4%の自治会で「住民意識の向上」が一番必要であると回答している。

項 目	県全体	湖北圏 域
1. 住民の意識向上	1607	252
2. リーダーの育成	377	57
3. 行政による指導、助言	289	47
4. 資機材の整備	173	34
5. 住民間のコミュニケーション向上	360	52
6. 行政による財政支援	289	72
7. 地域の事業所や商店との連携	24	2
8. 防災専門家との連携	103	17
9. その他	47	7
計	3269	540



問 20 あなたの自治会の防災力を高めるためには、何が一番課題であると考えますか(自由回答)。
(県全体からの意見)

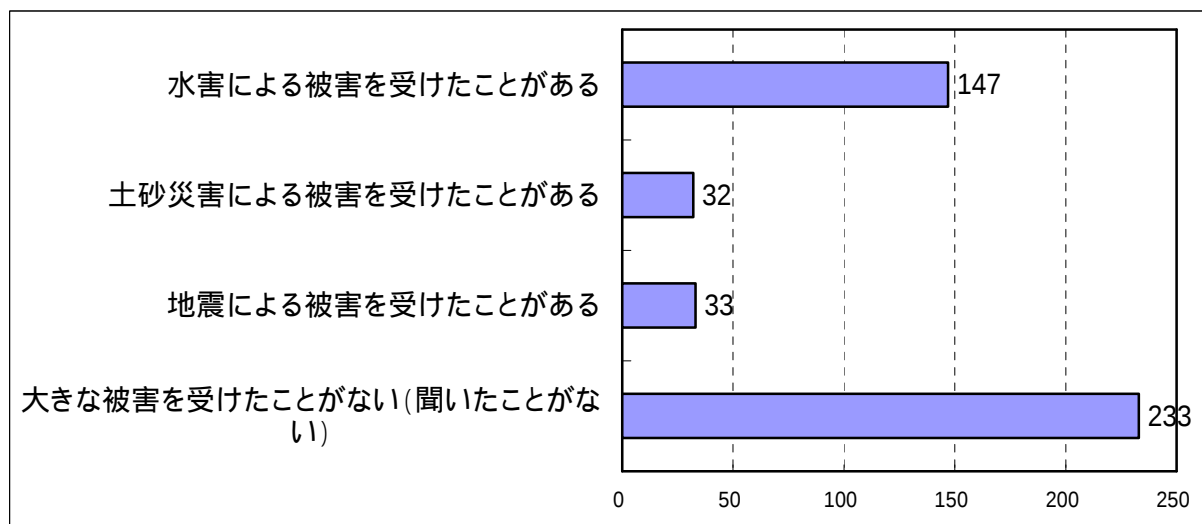
1	・普段からの災害に対する関心と防災意識が必要である。 ・停電時にも放送が可能な、災害時に断線の発生しない無線放送で連絡できる事。
2	災難等にもし起きた時に一人では何もできない、いかに住民たちの協力があるか。
3	集落住民の協力
4	防災に対する意識が薄い。
5	高月町全域で一斉に実施をし、多くの住民が参加をしてもらい、まず意識向上を図る。
6	災害に対する各人の防災意識のアップ。
7	災害の怖さの住民の認識とその為の啓蒙活動
8	住民の方の意識向上と訓練及財政支援
9	住民の意識向上と行政の財政支援
10	防災訓練に住民の半数以上の参加があるよう、防災に対する住民の意識向上
11	体制の充実が必要と考えている。会社関係の協力を求めることも必要。
12	防災意識を確立し、区民に認識してもらう
13	資機材の整備に対する行政による財政支援
14	地震を想定して避難、救助訓練が、出来ておらず課題だと考える。
15	資機材の整備に必要な格納庫
16	日中は成人男が勤めの為、人がいなく老人、女性であり、災害発生時の初動防災対応が出来ない。 又老人、女性でも出来る設備、機材が無い。
17	住民の意識向上を高める事
18	問19
19	町民が万一に備え研修を行うこと
20	大地震、大風水害に耐えることの出来る一時的避難所の設置と避難訓練。
21	1.携帯電話が通じない。付近にアンテナがぜひ必要(非常の連絡が出来ない) 2.行政による緊急連絡の方法をぜひ考えてほしい(電話が通じない時)
22	住民の意識向上
23	現在火災訓練のみ実施しており、今後の住民の意識向上をはかるために講習会等が必要です。
24	防災活動(訓練等)を定期的に行い、防災用、資機材を整備すること。
25	火災が無い様にすること!
26	住民の家族構成がわからない。行政による意識の向上。リーダーの育成。

被災履歴について

問 21 あなたの自治会のある地域は、過去に自然災害により被害を受けたことがありますか。いくつでも○をしてください。

55.9%の自治会が、過去に自然災害による「大きな被害を受けたことがない」と回答している。

項目	県全体	湖北圏域
1. 水害により被害を受けたことがある	814	147
2. 土砂災害により被害を受けたことがある	185	32
3. 地震により被害を受けたことがある	60	33
4. 大きな被害を受けたことがない(聞いたことがない)	1487	233

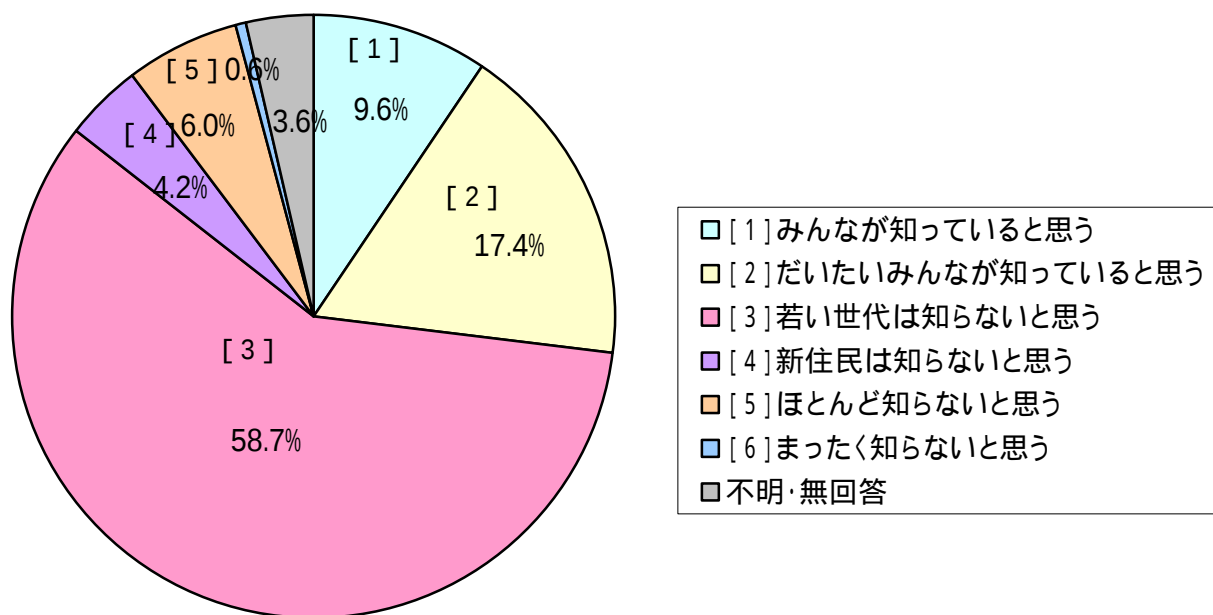


問 22 問 21 で被災を受けたことのある地域の方にお伺いします。

地域の皆さんはこうした過去の被災について知っていると思いますか。ひとつ○をしてください。

回答のうち、62.9%が過去の被災について「若い世代」や「新住民」は知らないと思うと回答している。

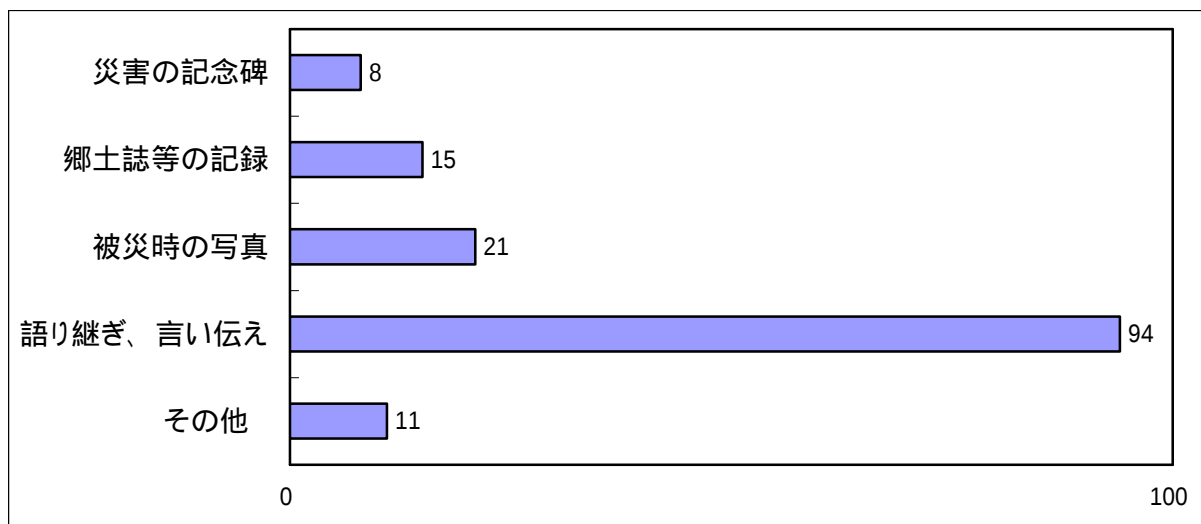
項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. みんなが知っていると思う	78	8.6%	16	9.6%
2. だいたいみんなが知っていると思う	167	18.4%	29	17.4
3. 若い世代は知らないと思う	435	47.8%	98	58.7%
4. 新住民は知らないと思う	72	7.9%	7	4.2%
5. ほとんど知らないと思う	91	10.0%	10	6.0%
6. まったく知らないと思う	5	0.5%	1	0.6%
不明・無回答	62	6.8%	6	3.6%
回答数	910	100.0%	167	100.0%



問 23 あなたの自治会のある地域の被災の記録や伝承がされているものをご記入ください。あてはまるものすべてに、○をしてください。

22.5%の自治会で「語り継ぎ、言い伝え」がある。

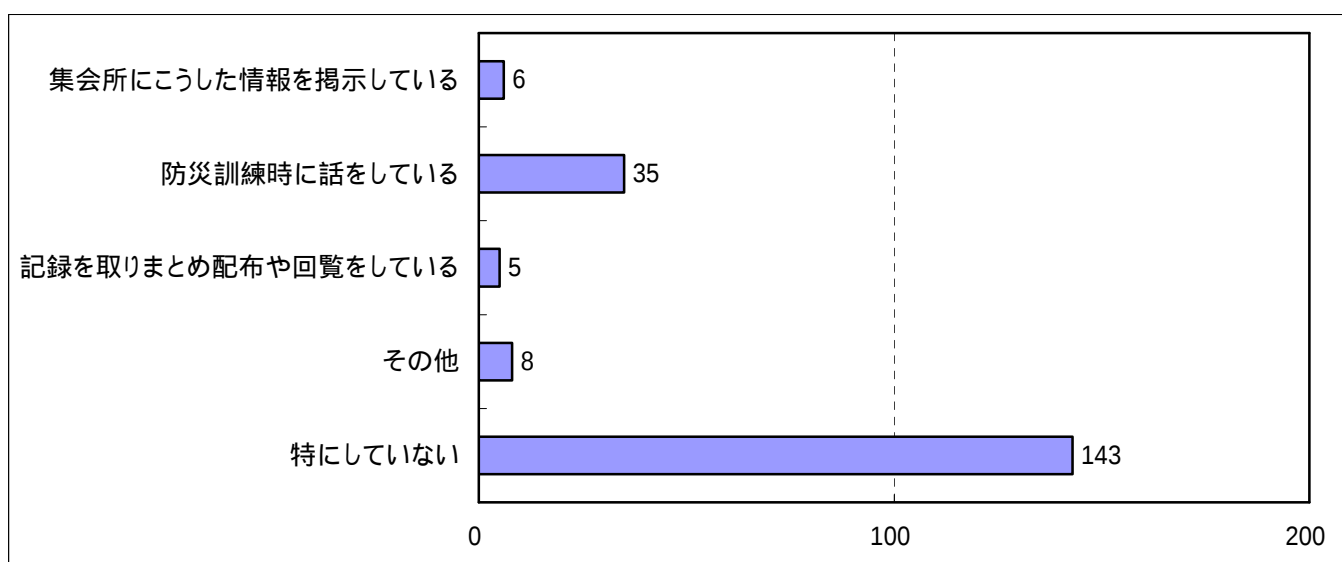
項 目	県全体	湖北圏域
1. 災害の記念碑	62	8
2. 郷土誌等の記録	95	15
3. 被災時の写真	130	21
4. 語り継ぎ、言い伝え	435	94
5. その他	73	11



問 24 地域の被災記録や伝承について、地域のみなさんが情報を共有できる工夫はされていますか。いくつでも○をしてください。

地域の被災記録や伝承について情報を共有できる工夫を行っている自治会は少ない状況。

項 目	県全体	湖北圏域
1. 集会所にこうした情報を掲示している	44	6
2. 防災訓練時に話をしている	161	35
3. 記録をとりまとめ配布や回覧をしている	36	5
4. その他	54	8
5. 特にしていない	783	143



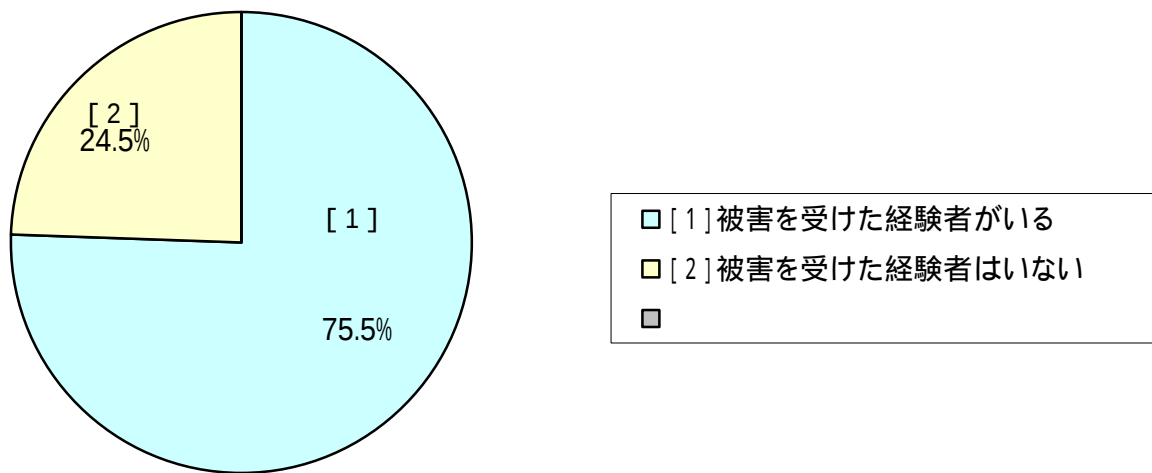
問 25 あなたの自治会の地域での被災体験・履歴について記入をお願いします。(県全体版)

	年	月	名称	災害時の様子	災害時に困ったこと	災害後に困ったこと
1	2006	6		大雨による		
2			伊勢湾台風	神社の木は何本か倒れた。家も何件か傾いた	避難場所がその年末にはなかった。	
3	45 年 ほど前			赤川の水があふれ、一部の路や宅地が浸水した。		
4			江戸時代の 水害(西野水道貫通)	生前で細部は不明		
5	明治以前		大雨	土砂くずれ(2ヶ所)		
6	?		伊勢湾台風	家屋の浸水 30cm 位、ヨシ及袋が飛散した。	前もって分かっていたので特になし	住宅の補修
7			ジェーン台風、伊勢湾台風			
8	大正 10	6		高時川が欠陥し、集落内が浸水した。食事の運搬は、舟を使ってしたと聞く。		
9			伊勢湾台風	雨が多く、高時川の水位が上昇し橋まで来て馬上区南郷排水口より郷内に進入、水田の半分が水につかった。		
10				40 年ぐらい前の台風での水害(床下浸水が有った)		河川改修後現在発生していない
11			台風 19 号	床下浸水、川の氾濫	道路が川になり、水圧で避難できなかった	後始末
12	昭和 45	7 頃		川の水があふれ川べりの農機倉庫が流され、橋につまり、水が川の両脇にあふれて流れた。山すその土砂くずれが起こった。昔、人が流されて死んだことがある。	家のまわりが洪水で家からの出口がなくなった家があった。	村の入口で道路がえぐられ車の通行が不能になった。田畑に土砂が流れ込んで回復が大変だった。
13	昭和 34	9	伊勢湾台風	市道が全面くずれ落ちた矢倉川の土手が決壊した。	通学できなかった	田んぼに土砂が大量に入った
14				伊勢湾台風の 1 年前後に矢倉川土手修理完了後また同じ所が決壊した。		
15			伊勢湾台風	犬上川堤防が決壊し床下浸水した		数日後浸水が引かず、水びたしの生活だった

問 26 あなたの自治会には、被害を経験された方がおられますか。ひとつ○をしてください。

本設問に回答のあった 75.5%の自治会において「被害を受けた経験者がいる」と回答している。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1.被害を受けた経験者がいる	611	79.5%	111	75.5%
2.被害を受けた経験者はいない	158	20.5%	36	24.5%
回答数	769	100.0%	147	100.0%

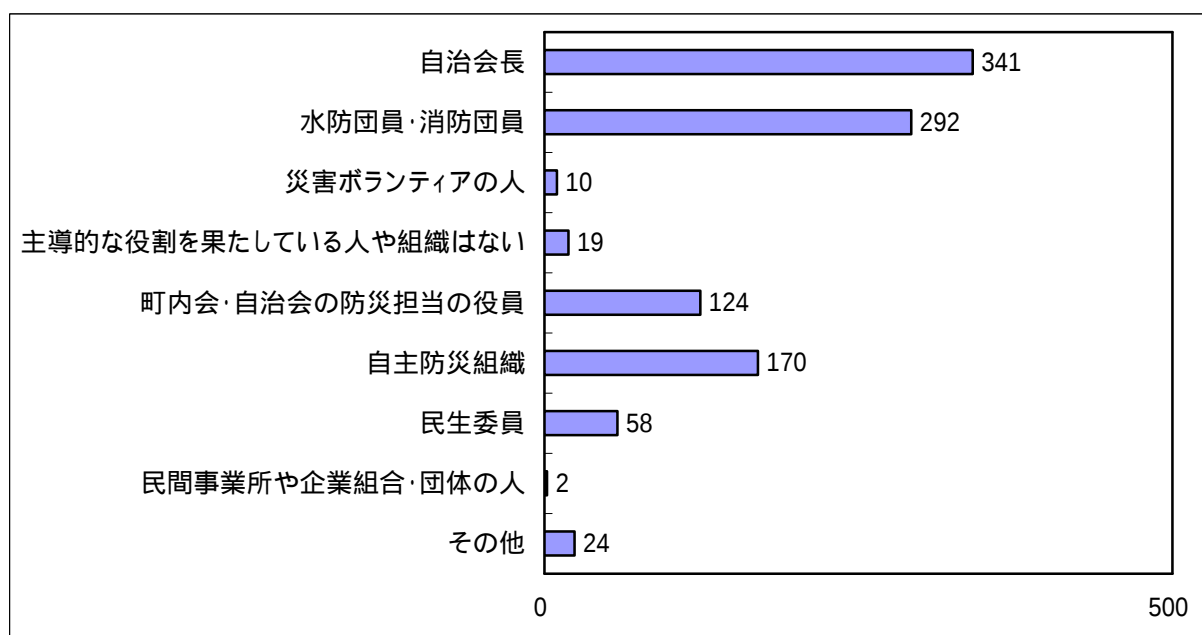


水害に対する地域防災力診断について

問 27 あなたの自治会の防災活動では、どのような人または組織が主導的な役割を果たしていますか。
あてはまる人や組織をすべて○をしてください。

防災活動において主導的な役割を果たしているのは、「自治会長」、「水防団員（消防団員）」との回答が多い。

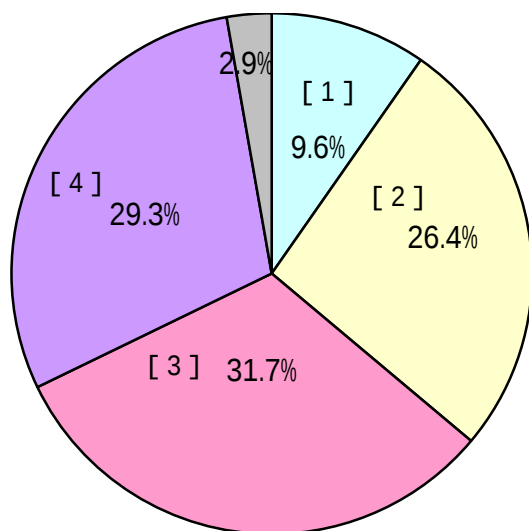
項 目	県全体	湖北圏域
1. 自治会長	1919	341
2. 水防団員（消防団員）	1275	292
3. 災害ボランティアの人	64	10
4. 主導的な役割を果たしている人や組織はない	199	19
5. 町内会・自治会の防災担当の役員	1009	124
6. 自主防災組織	886	170
7. 民生委員、児童委員	378	58
8. 民間事業所や企業組合・団体の人	18	2
9. その他	129	24



問28 あなたの自治会は、防災面で何か困ったことがあったときなど、消防署や消防団・水防団と、いつも連絡を取りあっていますか。ひとつ○をしてください。

計 36.0%の自治会が消防署・消防団・水防団と「よく連絡を取りあっている」と回答しているが、「ほとんど連絡を取りあっていない」と回答した自治会も29.3%にのぼる。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. いつもよく連絡を取りあっている	213	8.6%	40	9.6%
2. よく連絡を取りあっている	648	26.2%	110	26.4%
3. あまり連絡を取りあっていない	795	32.2%	132	31.7%
4. ほとんど連絡を取りあっていない	744	30.1%	122	29.3%
不明・無回答	72	2.9%	12	2.9%
回答数	2472	100.0%	416	100.0%

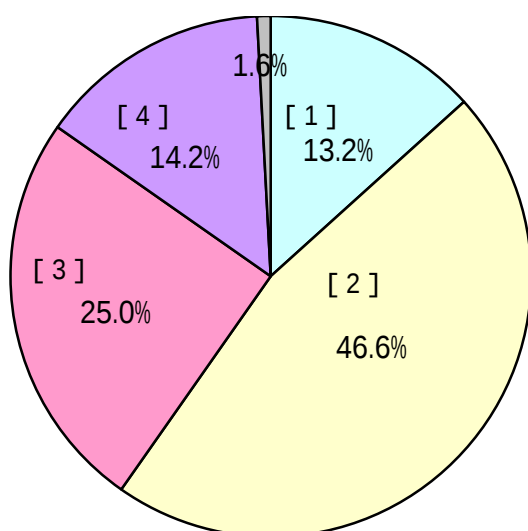


- [1] いつもよく連絡をとりあっている
- [2] よく連絡をとりあっている
- [3] あまり連絡をとりあっていない
- [4] ほとんど連絡をとりあっていない
- 不明・無回答

問 29 あなたの自治会は、防災面にかかわらず、何か困ったことがあったときなど、市役所や町役場とふだんから連絡を取りあっていますか。ひとつ○をしてください。

計 59.8%の自治会が市役所や町役場とよく連絡を取り合っていると回答している。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. いつもよく連絡を取りあっている	346	14.0%	55	13.2%
2. よく連絡を取りあっている	1108	44.8%	194	46.6%
3. あまり連絡を取りあっていない	614	24.8%	104	25.0%
4. ほとんど連絡を取りあっていない	366	14.8%	59	14.2%
不明・無回答	38	1.6%	4	1.0%
回答数	2472	100.0%	416	100.0%

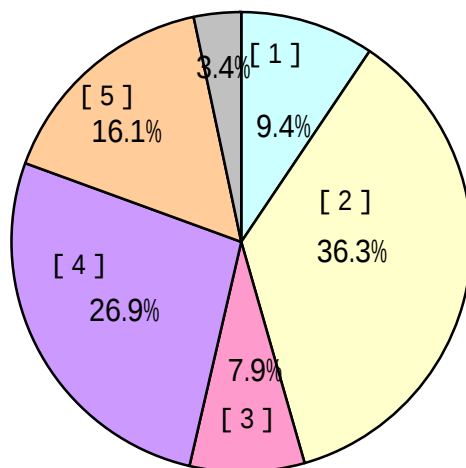


- [1] いつもよく連絡を取りあっている
- [2] よく連絡を取りあっている
- [3] あまり連絡を取りあっていない
- [4] ほとんど連絡を取りあっていない
- 不明・無回答

問 30 あなたの自治会における河川の堤防決壊などの洪水による浸水発生の可能性がわかる「(河川)洪水ハザードマップ」(「災害ハザードマップ」「浸水実績図」などの名称の場合もあります)を、ご覧になりましたか。ひとつ○をしてください。

43.0%の自治会で洪水ハザードマップ等を「見たことがない」もしくは「ない」と回答している。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1.細かいところまで詳しく見た	212	8.6%	39	9.4%
2.ざっと大まかだが見た	774	31.3%	151	36.3%
3.少しは見た	192	7.8%	33	7.9%
4.そのような地図は見たことがない	717	29.0%	112	26.9%
5.そのような地図はない	490	19.8%	67	16.1%
不明・無回答	87	3.5%	14	3.4%
回答数	2472	100.0%	416	100.0%

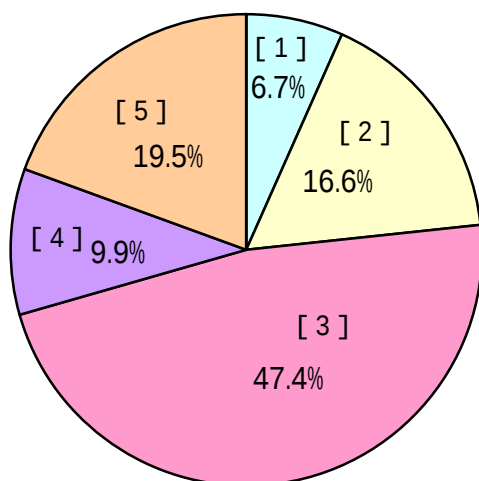


- [1] 細かいところまで詳しく見た
- [2] ざっと大まかだが見た
- [3] 少しは見た
- [4] そのような地図は見たことがない
- [5] そのような地図はない
- 不明・無回答

問 31 今後10年のうちに、あなたの自治会内で、床上浸水のような大きな浸水被害が発生する危険性はどの程度あると思いますか。ひとつ○をしてください。

床上浸水のような大きな浸水被害が発生する危険性について、「低い」考えている自治会が最も多く47.4%にのぼる。次いで「わからない」が19.5%である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. かなり危険性が高い	106	4.3%	28	6.7%
2. やや危険性が高い	279	11.3%	69	16.6%
3. 危険性は低い	1293	52.3%	197	47.4%
4. 危険性はまったくない	366	14.8%	41	9.9%
5. わからない	428	17.3%	81	19.5%
回答数	2472	100.0%	416	100.0%

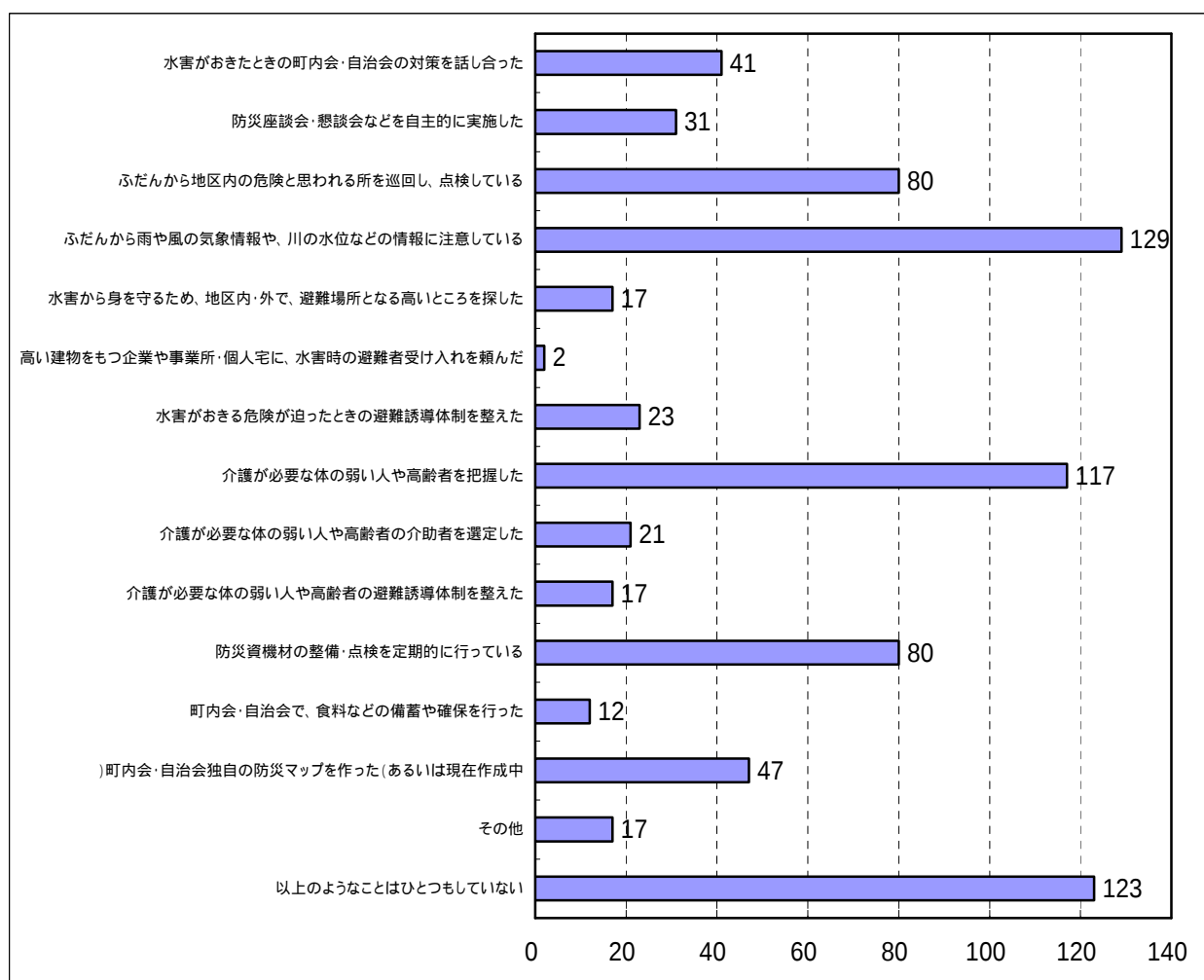


- [1] かなり危険性が高い
- [2] やや危険性が高い
- [3] 危険性は低い
- [4] 危険性はまったくない
- [5] わからない

問 32 あなたの自治会では、この2～3年間に、次にあげるような水害についての対策を自主的に実施していますか。自主的に実施したものをいくつでも選んで、○をしてください。

水害についての対策を「ひとつもしていない」自治会が多い(29.5%)。対策を実施している自治会では、「ふだんから雨や風の気象情報や、川の水位などの情報に注意している」(30.9%)、「介護が必要な体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)を把握した」(28.1%)が多い。

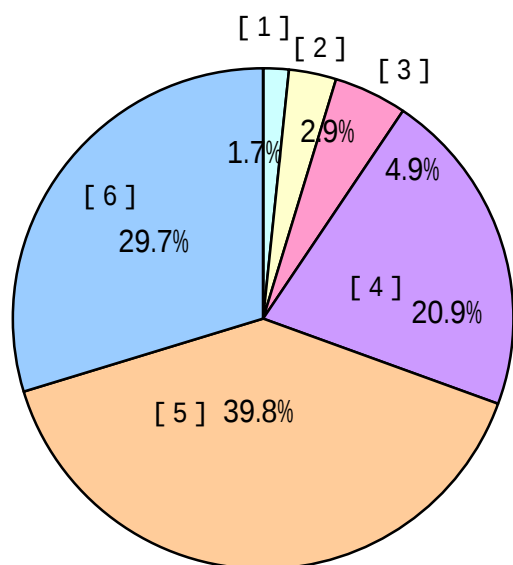
項 目	県全体	湖北圏域
1. 水害がおきたときの自治会の対策を話し合った	220	41
2. 防災座談会・懇談会などを自主的に実施した	232	31
3. ふだんから地区内の危険と思われる所を巡回し、点検している	422	80
4. ふだんから雨や風の気象情報や、川の水位などの情報に注意している	615	129
5. 水害から身を守るため、地区内・外で、避難場所となる高いところを探した	112	17
6. 高い建物をもつ企業や事業所・個人宅に、水害時の避難者受け入れを頼んだ	18	2
7. 水害がおきる危険が迫ったときの避難誘導体制を整えた	102	23
8. 介護が必要な体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)を把握した	592	117
9. 介護が必要な体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)の介助者を選定した	77	21
10. 介護が必要な体の弱い人や高齢者(災害時要援護者)の避難誘導体制を整えた	72	17
11. 防災資機材の整備・点検を定期的に行っている	414	80
12. 町内会・自治会で、食料などの備蓄や確保を行った	51	12
13. 町内会・自治会独自の防災マップを作った(あるいは現在作成中)	334	47
14. その他	98	17
15. 以上のようなことはひとつもしていない	827	123
計	4186	757



問 33 あなたの自治会の住民のなかで、水害から自分たちの生命や財産を守るために何らかの対策を実施している人は、どのくらいいると思いますか。ひとつ○をしてください。

「備えをしている人はほとんどいない」と考えている自治会長が 39.8%で最も多い。水害について自ら対策を実施している人が半数以上いると考えている自治会は、全体の 9.5%である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1.ほとんど全員が何らかの備えをしている	38	1.6%	7	1.7%
2.かなりの人が備えをしている	78	3.2%	12	2.9%
3.約半数の人は備えをしている	105	4.3%	20	4.9%
4.何らかの備えをしている人は半数に満たない	508	20.9%	85	20.9%
5.備えをしている人はほとんどいない	918	37.9%	162	39.8%
6.わからない	778	32.1%	121	29.7%
回答数	2425	100.0%	407	100.0%

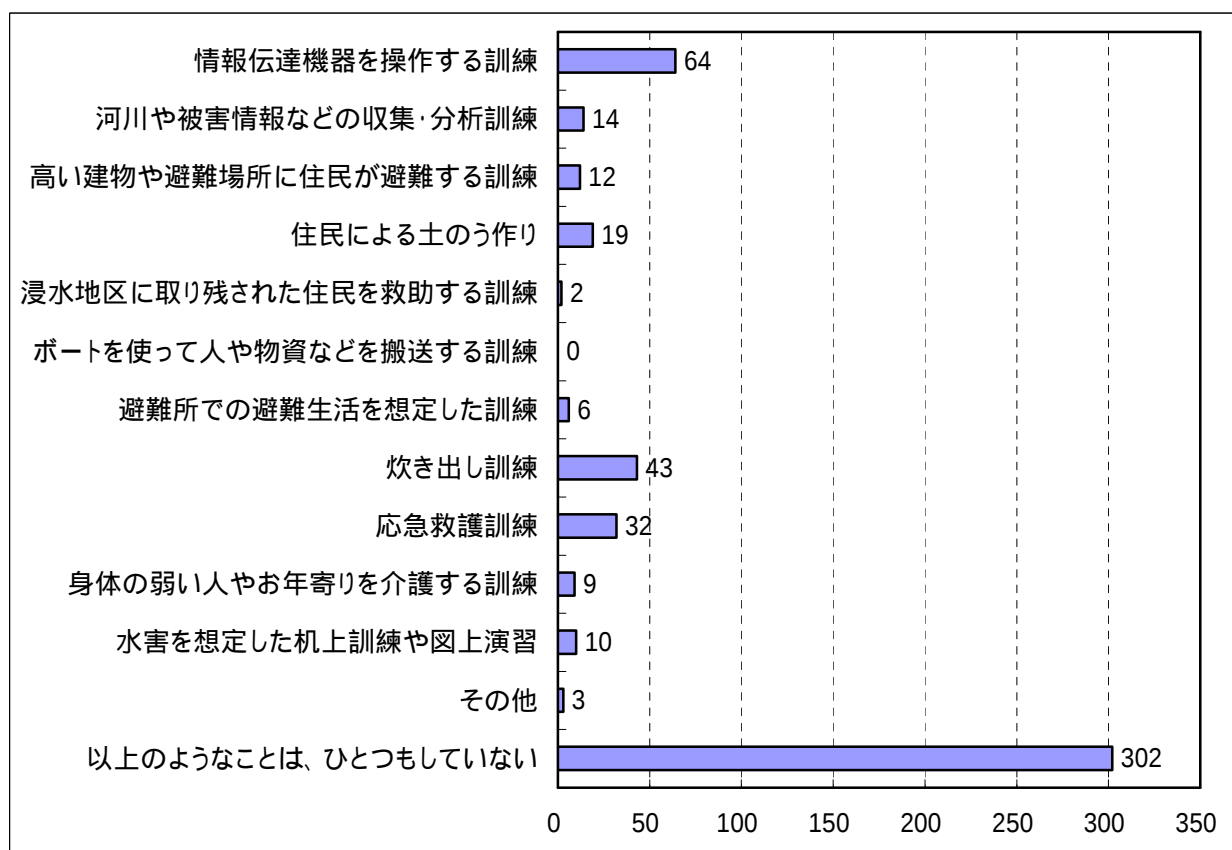


- [1] ほとんど全員が何らかの備えをしている
- [2] かなりの人が備えをしている
- [3] 約半数の人は備えをしている
- [4] 何らかの備えをしている人は半数に満たない
- [5] 備えをしている人はほとんどいない
- [6] わからない
- 不明・無回答

問 34 あなたの自治会では、次にあげるような水害に備えるための訓練(水防訓練)のうち、どれを実施していますか。行政主催の訓練への参加や自治会で実施している訓練を、すべて○をしてください。

72.4%の自治会で「水防訓練は実施していない」という回答であった。実施している自治会で多いのは「機器操作訓練」、「炊き出し訓練」である。

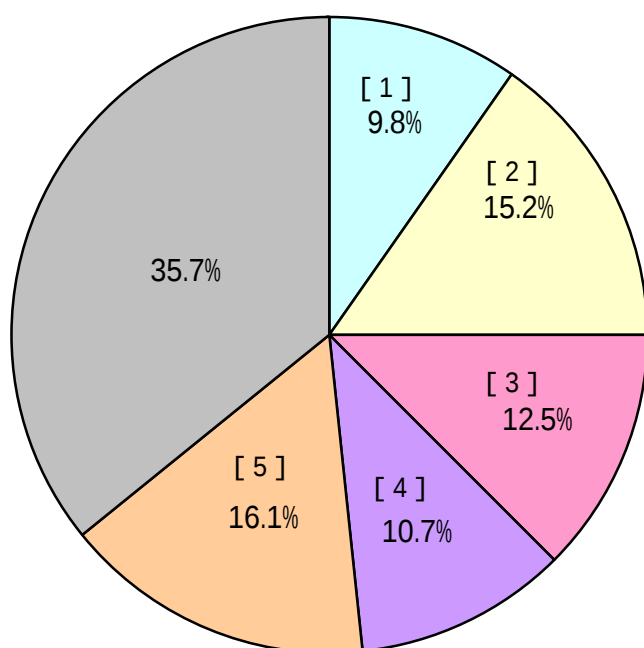
項 目	県全体	湖北圏域
1. 情報伝達機器(防災無線など)を操作する訓練	146	64
2. 河川や被害情報などの収集・分析訓練	70	14
3. 高い建物や避難場所に住民が避難する訓練	69	12
4. 住民による土のう作り	92	19
5. 浸水地区に取り残された住民を救助する訓練	9	2
6. ボートを使って人や物資などを搬送する訓練	0	0
7. 避難所での避難生活を想定した訓練	35	6
8. 炊き出し訓練	184	43
9. 応急救護訓練	193	32
10. 身体の弱い人やお年寄り(災害時要援護者)を介護する訓練	53	9
11. 水害を想定した机上訓練や図上演習	51	10
12. その他	27	3
13. 水防訓練は実施していない	1958	302



問 35 最近行った水害に備えるための訓練(水防訓練)には、地区住民のうち、どれくらいの人が参加しましたか。ひとつ○をしてください。

水防訓練を実施している自治体のうち、「参加者はほとんど役員だけ」の自治会が 16.1%。
住民の半分以上が参加していると回答したのは 37.5%である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 町内のほとんど全員が参加している	36	7.5%	11	9.8%
2. かなりの人が参加している	54	11.2%	17	15.2%
3. 約半分の人が参加している	50	10.4%	14	12.5%
4. 住民の参加者は半分に満たない	70	14.5%	12	10.7%
5. 参加者はほとんど役員だけ	90	18.6%	18	16.1%
不明・無回答	183	37.8%	40	35.7%
回答数	483	100.0%	112	100.0%

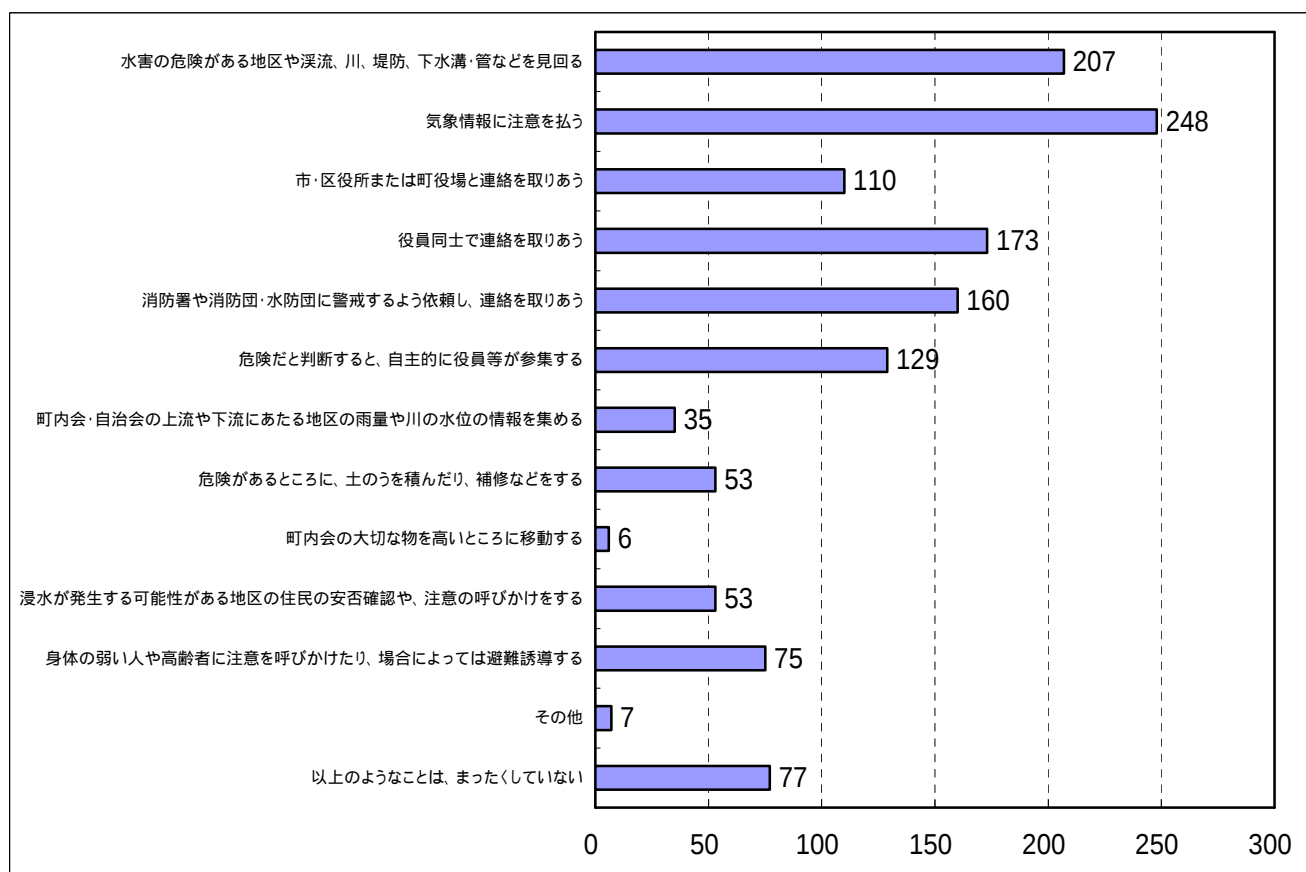


- [1] 町内のほとんど全員が参加している
- [2] かなりの人が参加している
- [3] 約半分の人が参加している
- [4] 住民の参加者は半分に満たない
- [5] 参加者はほとんど役員だけ
- 不明・無回答

問36 長雨が続きたり、雨が強まったりして水害の危険が高まったとき、あなたの自治会ではどのようなことをしますか。これまでの経験から、あてはまるものをいくつでも○をしてください。

「気象情報に注意を払う」（59.5%）が最も多く、次いで「水害の危険がある地区や溪流、川、堤防、下水溝・管などを見回る」（49.6%）、「役員同士で連絡を取りあう」（41.5%）の順に多い。

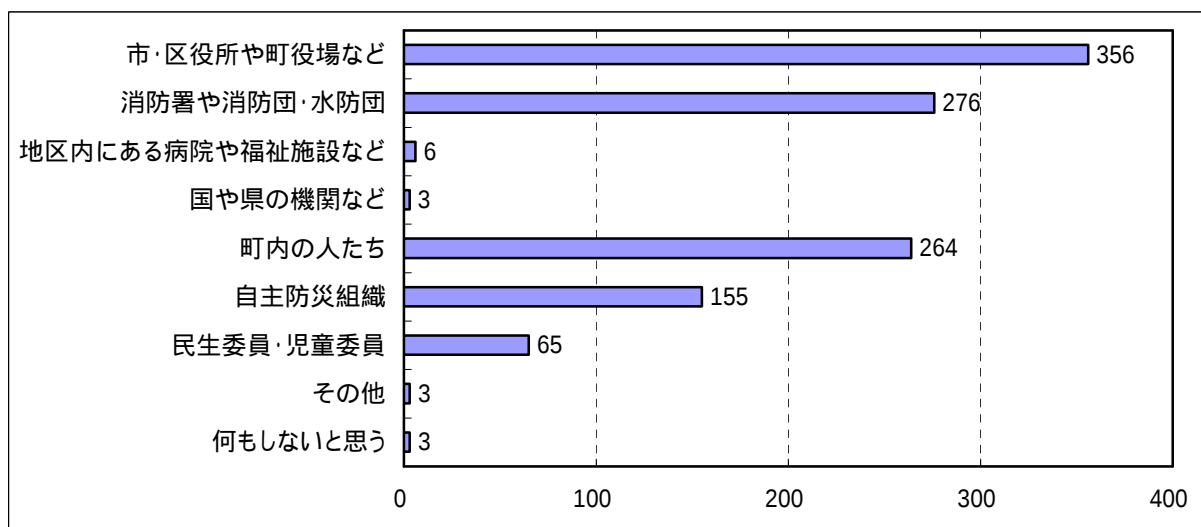
項 目	県全体	湖北圏域
1. 水害の危険がある地区や溪流、川、堤防、下水溝・管などを見回る	985	207
2. 気象情報に注意を払う	1307	248
3. 市役所または町役場と連絡を取りあう	594	110
4. 役員同士で連絡を取りあう	925	173
5. 消防署や消防団・水防団に警戒するよう依頼し、連絡を取りあう	690	160
6. 危険だと判断すると、自主的に役員等が参集する	599	129
7. 自治会の上流や下流にあたる地区の雨量や川の水位の情報を集める	210	35
8. 危険があるところに、土のうを積んだり、補修などをする	205	53
9. 町内会の大切な物を高いところに移動する	31	6
10. 浸水が発生する可能性がある地区の住民の安否確認や、注意の呼びかけをする	286	53
11. 身体の弱い人や高齢者（災害時要援護者）に注意を呼びかけたり、場合によっては避難誘導する	372	75
12. その他	47	7
13. 以上のようなことは、まったくしていない	645	77
回答なし		



問 37 もしも、あなたまたは自治会の役員の方などが、洪水による浸水が発生する可能性が大きくなったと判断したとき、その情報をどこへ伝えますか。あてはまると思われるものをいくつでも○をしてください。

最も多かったのは「市役所や町役場」（85.4%）で次いで「消防署や消防団・水防団」（66.2%）が多い。「町内の人たち」に情報を伝達するとの回答は63.3%であった。

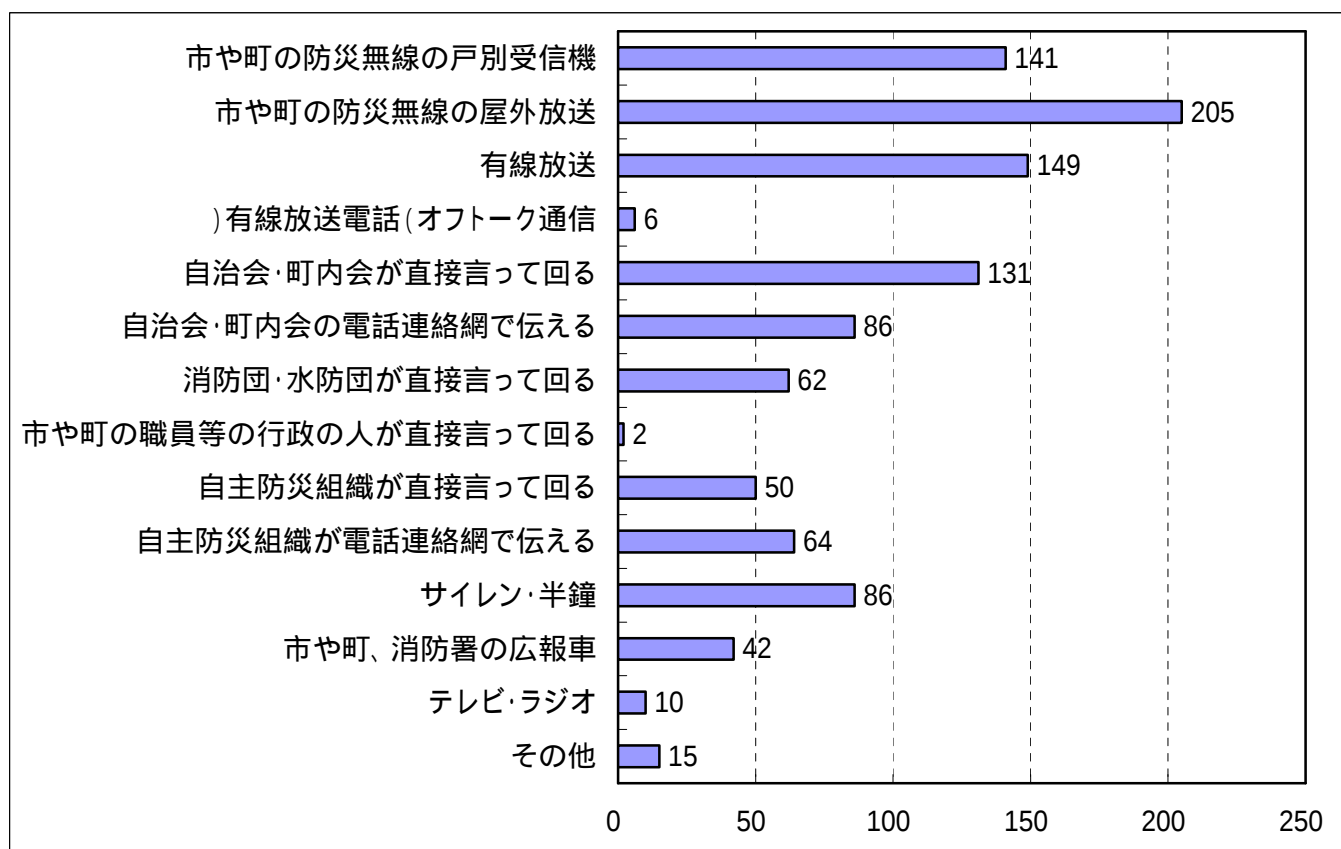
項 目	県全体	湖北圏域
1.市役所や町役場	1980	356
2.消防署や消防団・水防団	1679	276
3.地区内にある病院や福祉施設など	63	6
4.国や県の機関	54	3
5.町内の人たち	1605	264
6.自主防災組織	882	155
7.民生委員・児童委員	364	65
8.その他	35	3
9.特にどこへも伝えないと思う	28	3



問 38 あなたの自治会では住民に、緊急に一齐に情報を知らせるための手段として、どのようなものを使うことになっていますか。使うと思われるものをすべてに○をしてください。

約半数（49.2%）の自治会で、緊急時の連絡は「防災無線の屋外放送」と回答している。
次いで多いのは「有線放送」（35.7%）手段である。

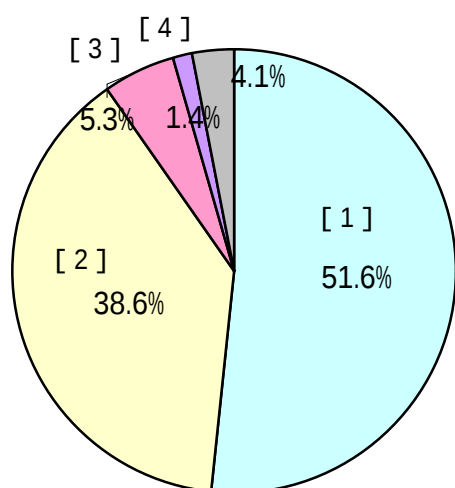
項 目	県全体	湖北圏域
1.市や町の防災無線の戸別受信機	437	141
2.市や町の防災無線の屋外放送	519	205
3.有線放送	447	149
4.有線放送電話(オフトーク通信)	113	6
5.自治会の役員が直接言って回る	1152	131
6.自治会の電話連絡網で伝える	814	86
7.消防団・水防団が直接言って回る	362	62
8.市町の職員等の行政の人が直接言って回る	28	2
9.自主防災組織の役員が直接言って回る	421	50
10.自主防災組織の電話連絡網で伝える	414	64
11.サイレン・半鐘	391	86
12.市や町、消防署の広報車	356	42
13.テレビ・ラジオ	109	10
14.その他	181	15
回答なし		



問 39 あなたの自治会のある地域で、もしも洪水による浸水が発生する危険が大きくなった場合、自治会あるいは自主防災組織として、自主的に洪水による浸水の危険がある地区の人に避難を呼びかけますか。ひとつ○をしてください。

洪水による浸水が発生する危険が大きくなった場合、「必ず避難を呼びかける」「たぶん、避難を呼びかけることになるだろう」と考えている自治会が9割（90.2%）ある。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 必ず避難を呼びかけるだろう	1161	47.0%	215	51.6%
2. たぶん、避難を呼びかけることになるだろう	958	38.8%	161	38.6%
3. たぶん、避難の呼びかけはできないだろう	175	7.1%	22	5.3%
4. 避難の呼びかけはまったくできないだろう	73	3.0%	6	1.4%
不明・無回答	105	4.1%	13	3.1%
回答数	2472	100.0%	417	100.0%

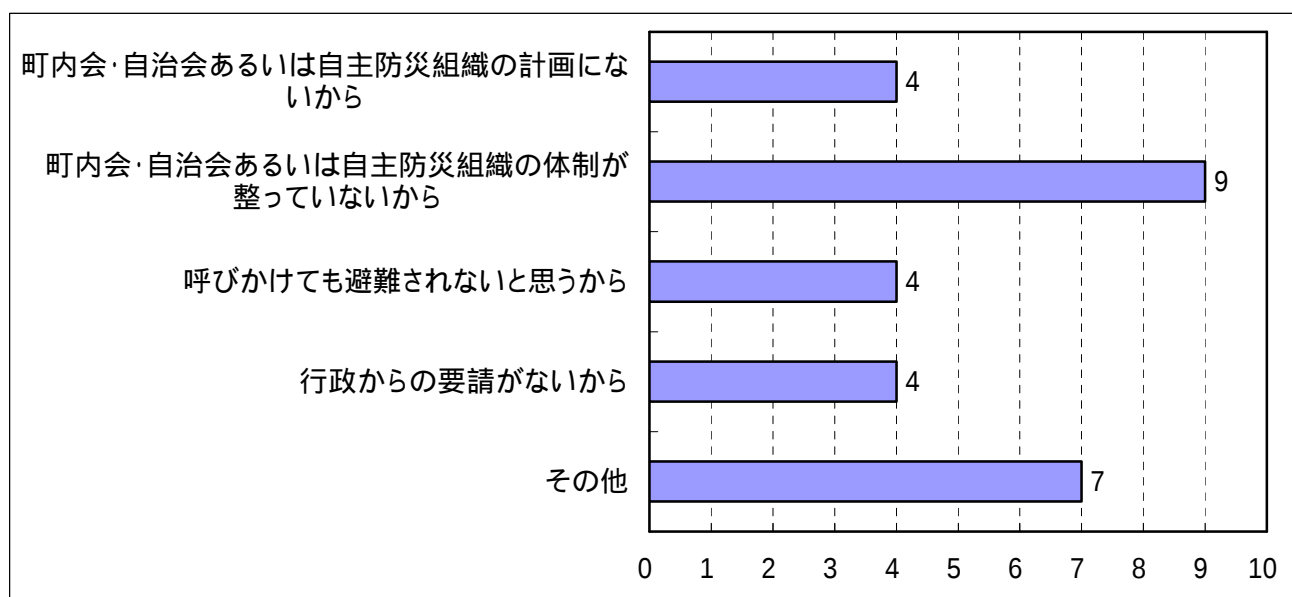


- [1] 必ず避難を呼びかけるだろう
- [2] たぶん、避難を呼びかけることになるだろう
- [3] たぶん、避難の呼びかけはできないだろう
- [4] 避難の呼びかけはまったくできないだろう
- 不明・無回答

問 40 問 39 で、「たぶん、避難の呼びかけはできないだろう」又は「避難の呼びかけはまったくできないだろう」とお答えになった方へ、なぜそう考えられたのか、その理由をいくつでも○をしてください。

洪水時に避難を呼びかけることができない理由として、「自治会あるいは自主防災組織の体制が整っていないから」と回答した自治会が最も多い。

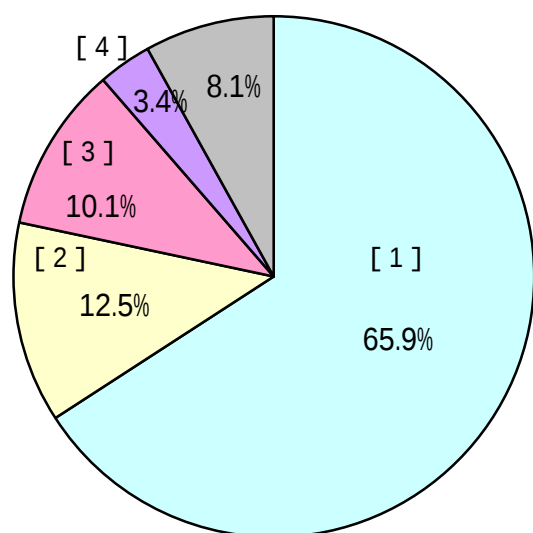
項 目	県全体	湖北圏域
1. 自治会あるいは自主防災組織の計画にないから	37	4
2. 自治会あるいは自主防災組織の体制が整っていないから	113	9
3. 呼びかけても避難されないと思うから	31	4
4. 行政からの要請がないから	18	4
5. その他	44	7



問 41 水害の危険が高まり避難することになったとき、安全な道を通して、安全な避難場所に行くことはできますか。ひとつ○をしてください。

水害の危険が高まったときに「安全で歩きやすい道があまりない、ほとんどない」と回答している自治会が 13.5%もある。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1.安全で歩きやすい道がある	1621	65.3%	275	65.9%
2.途中に危険な所や歩きにくい道がある	348	14.0%	52	12.5%
3.安全で歩きやすい道はあまりない	242	9.7%	42	10.1%
4.安全で歩きやすい道はほとんどない	59	2.4%	14	3.4%
不明・無回答	214	8.6%	34	8.2%
回答数	2484	100.0%	417	100.0%

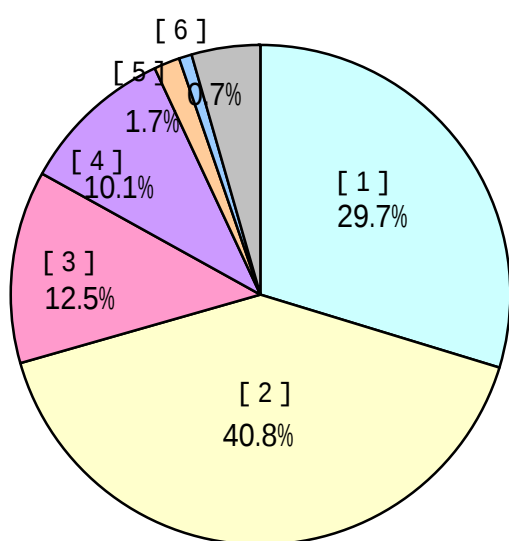


- ☐ [1] 安全で歩きやすい道がある
- ☐ [2] 途中に危険な所や歩きにくい道がある
- ☐ [3] 安全で歩きやすい道はあまりない
- ☐ [4] 安全で歩きやすい道はほとんどない
- ☐ 不明・無回答

問 42 自治会、自主防災組織または消防団や水防団が、自主的に洪水による浸水の危険がある地区の人に避難を呼びかけた場合、どのくらいの人が避難に応じてくれると思いますか。ひとつ○をしてください。

7割（70.6%）の自治会が、洪水による浸水の危険性があるときに「『かなり』もしくは『ほとんど全員』の人が避難してくれるだろう」と回答している。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1.ほとんど全員が避難してくれるだろう	592	23.8%	124	29.7%
2.かなりの人が避難してくれるだろう	1046	42.1%	170	40.8%
3.半分くらいは避難してくれるだろう	321	12.9%	52	12.5%
4.避難する人は少ないだろう	278	11.2%	42	10.1%
5.ほとんどの人が避難してくれないだろう	62	2.5%	7	1.7%
6.その他	52	2.1%	3	0.7%
不明・無回答	133	5.4%	19	4.6%
計	2484	100.0%	417	100.0%

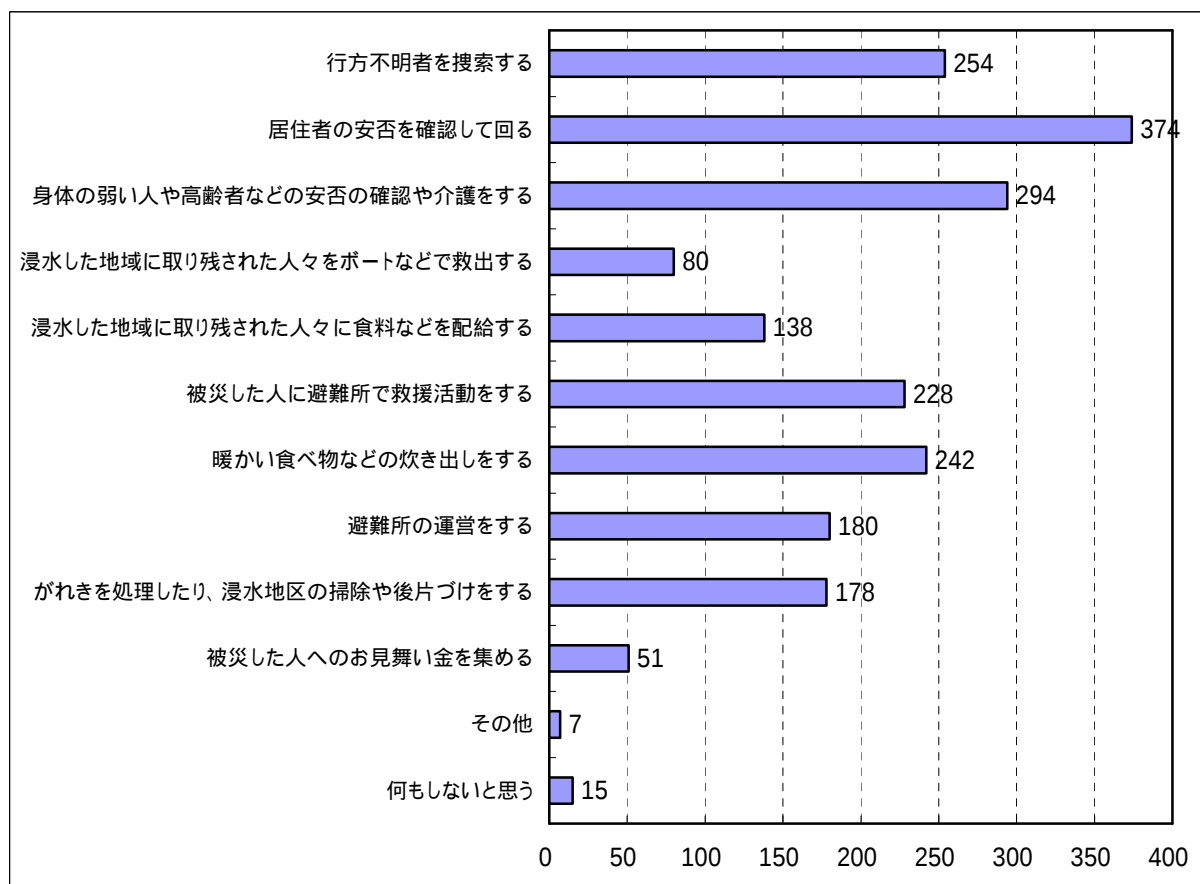


- [1] ほとんど全員が避難してくれるだろう
- [2] かなりの人が避難してくれるだろう
- [3] 半分くらいは避難してくれるだろう
- [4] 避難する人は少ないだろう
- [5] ほとんどの人が避難してくれないだろう
- [6] その他
- 不明・無回答

問 43 あなたの自治会のある地域が、万一水害で水浸しになってしまった場合、自治会では、どのような活動をすると思いますか。水害が発生してから3日目くらいまでに活動すると思われることを、いくつか○をしてください。

最も多い回答が「居住者の安否を確認して回る」（89.7%）で、次いで「災害時要援護者の安否の確認や介護」（70.5%）、「行方不明者を捜索」（60.9%）の順に多い。

項 目	県全体	湖北圏域
1. 行方不明者を捜索する	1356	254
2. 居住者の安否を確認して回る	2148	374
3. 身体の弱い人や高齢者など(災害時要援護者)の安否の確認や介護をする	1713	294
4. 浸水した地域に取り残された人々をボートなどで救出する	385	80
5. 浸水した地域に取り残された人々に食料などを配給する	731	138
6. 被災した人に避難所で救援活動をする	1262	228
7. 暖かい食べ物などの炊き出しをする	1316	242
8. 避難所の運営をする	908	180
9. がれきを処理したり、浸水地区の掃除や後片づけをする	971	178
10. 被災した人へのお見舞い金を集める	295	51
11. その他	41	7
12. 何もできないと思う	79	15

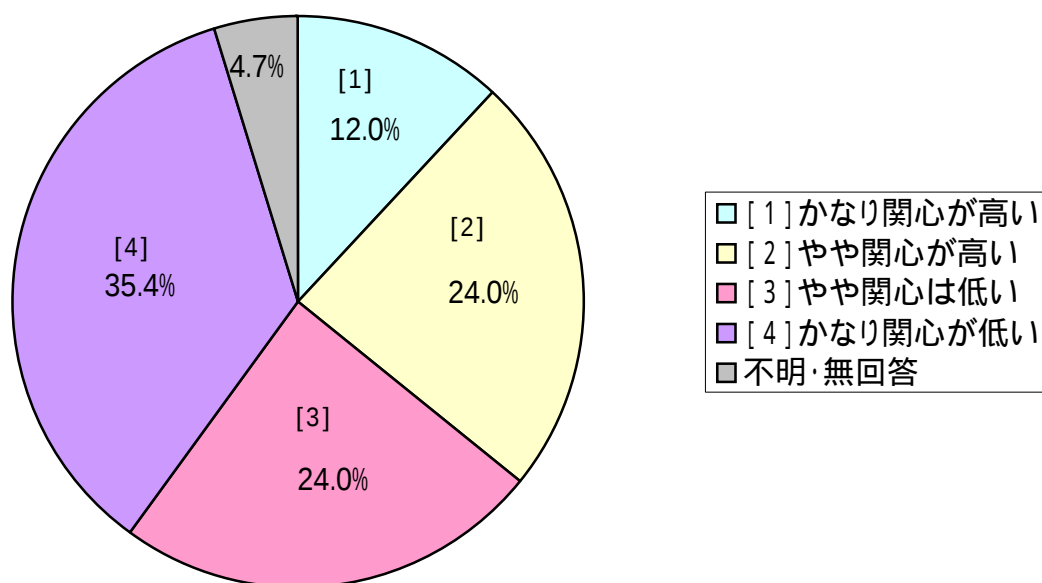


土砂災害に対する地域防災力診断について

問 44 あなたの自治会に住んでいる人たちの土砂災害に対する関心は高いですか。あてはまるものにひとつ○をしてください。

約 6 割（59.4％）の自治会が、関心が低いと回答している。

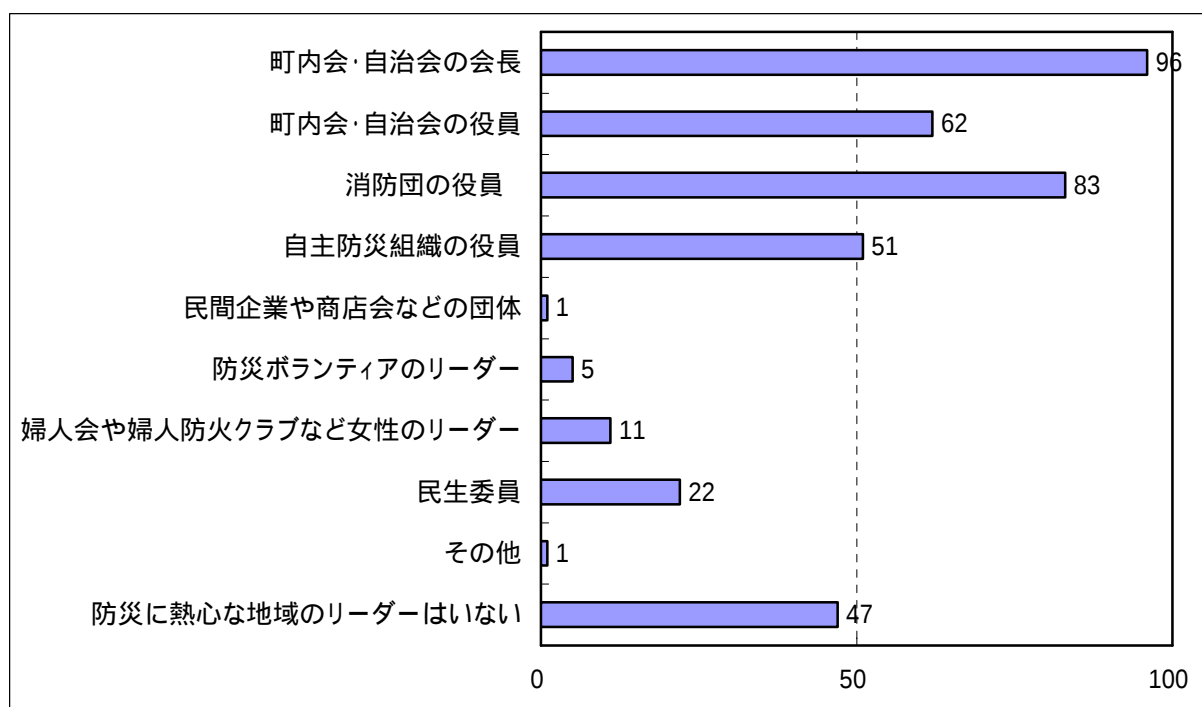
項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. かなり関心が高い	136	13.0%	23	12.0%
2. やや関心が高い	222	21.2%	46	24.0%
3. やや関心は低い	259	24.7%	46	24.0%
4. かなり関心は低い	370	35.3%	68	35.4%
不明・無回答	61	5.8%	9	4.7%
計	1048	100.0%	192	100.0%



問 45 あなたが住んでいる地域には、防災活動に熱心なリーダーがいますか。以下にあげた中で、あてはまる人や組織をすべて○をしてください。

回答のあった自治会のうち、24.5%の自治会で防災に熱心なリーダーがいない。

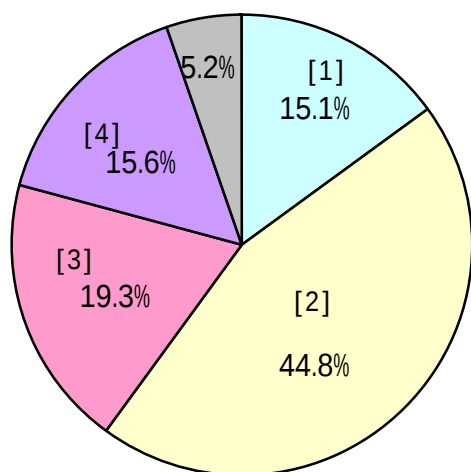
項 目	県全体	湖北圏域
町内会、自治会の会長	477	96
町内会、自治会の役員	462	62
消防団の役員	367	83
自主防災組織の役員	305	51
民間企業や商店会などの団体	2	1
防災ボランティアのリーダー	29	5
婦人会や婦人防火クラブなどの女性リーダー	63	11
民生委員	141	22
その他	18	1
防災に熱心な地域のリーダーはいない	229	47
計	2093	379



問 46 あなたは、県や市町から、あなたが住んでいる地域の土砂災害の危険性がある箇所の一覧表や地図（土砂災害危険箇所図）が配布され、それを見たことがありますか。次のうちで、あてはまるものをひとつ○をしてください。

24.9%の自治会が、「見たことがない」または「ない」と回答している。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 配布されたものを時間をかけて見た	167	15.9%	29	15.1%
2. 見たことがある	429	40.9%	86	44.8%
3. 配布されておらず見たことがない	202	19.3%	37	19.3%
4. そのような地図や一覧表はない	188	17.9%	30	15.6%
不明・無回答	62	5.9%	10	5.2%
計	1048	100.0%	192	100.0%

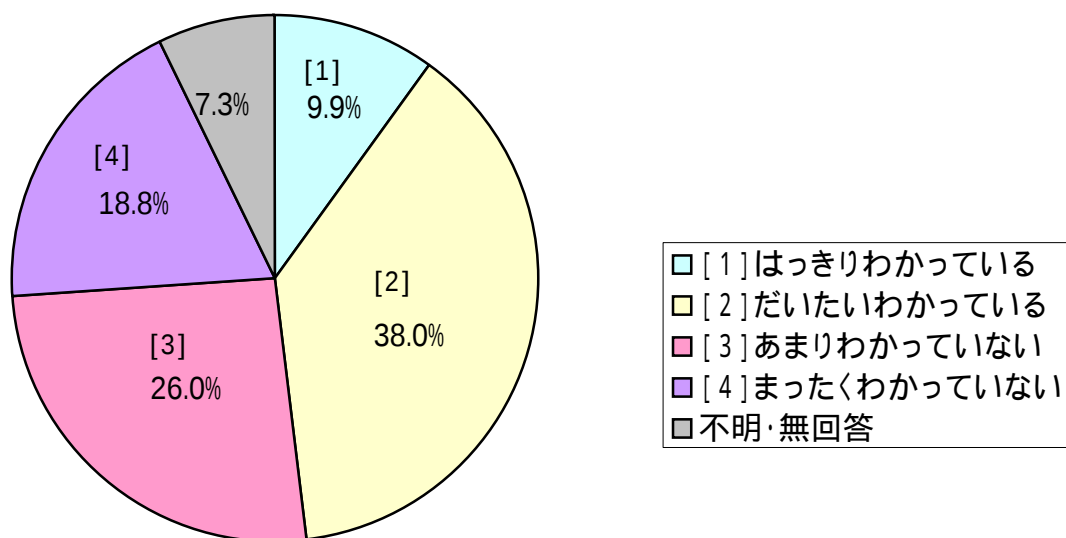


- [1] 配布されたものを時間をかけて見た
- [2] 見たことがある
- [3] 配布されておらず、見たことがない
- [4] そのような地図や一覧表はない
- 不明・無回答

問 47 あなたの住んでいる地域の人々は、地域内に土砂災害危険箇所がどこにあるかわかっていますか。あてはまるものをひとつ○をしてください。

回答のあった自治会のうち、わかっていない自治会が約半数（44.8%）となっている。

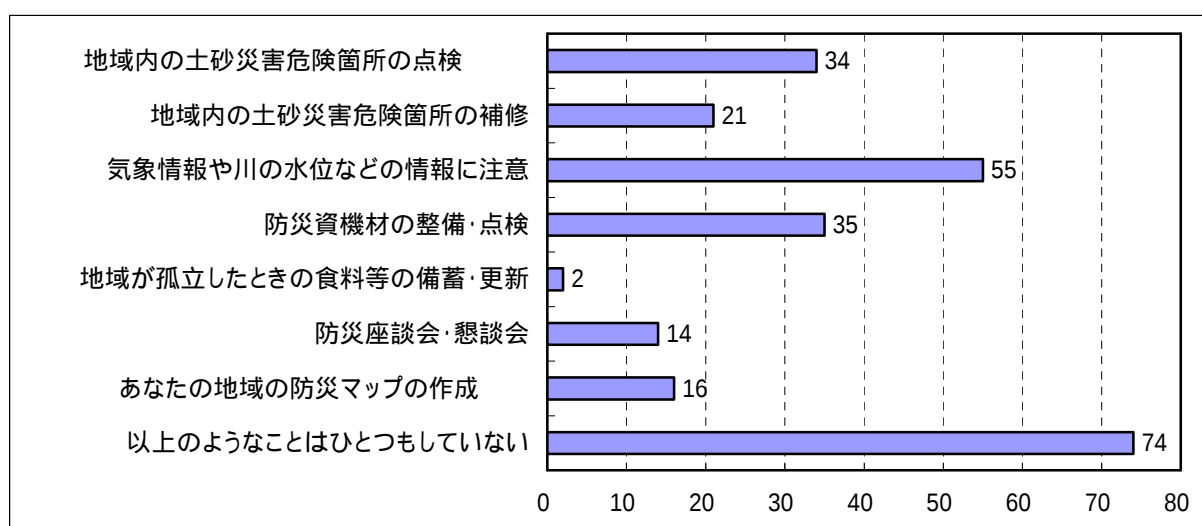
項目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. はっきりわかっている	123	11.7%	19	9.9%
2. だいたいわかっている	341	32.5%	73	38.0%
3. あまりわかっていない	305	29.1%	50	26.0%
4. まったくわかっていない	209	19.9%	36	18.8%
不明・無回答	70	6.7%	14	7.3%
計	1048	100.0%	192	100.0%



問 48 あなたの住んでいる地域の住民組織では、ふだん、次のような防災活動を行っていますか。
ふだん行っているものをいくつでも選んで、○をしてください。

回答のあった自治会のうち、38.5%の自治会では防災活動をひとつも実施されていない。

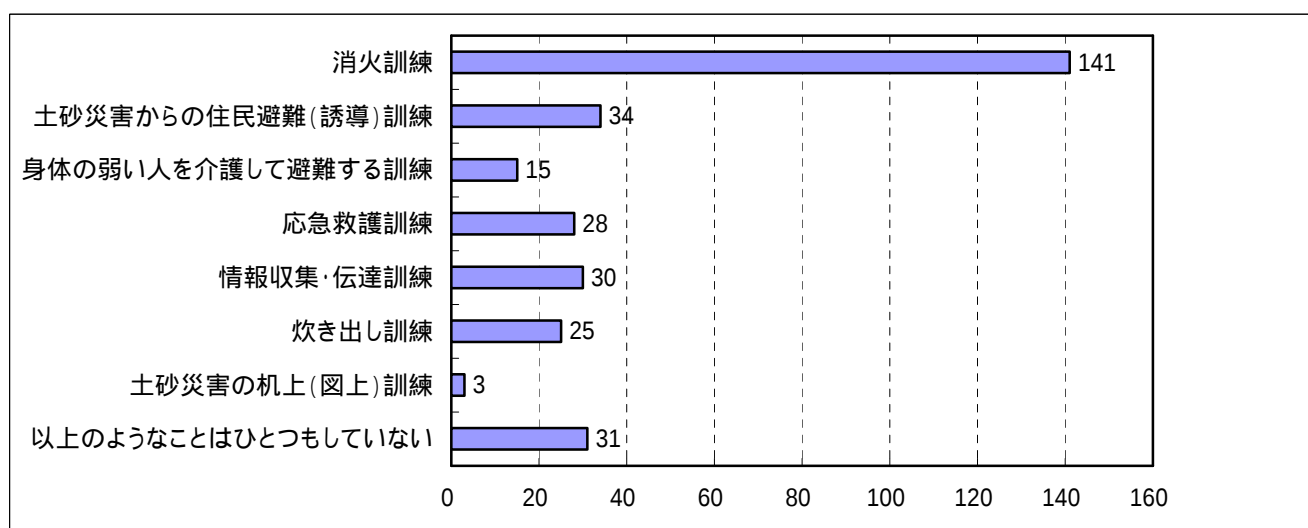
項 目	県全体	湖北圏域
1. 地域内の土砂災害危険箇所の点検	188	34
2. 地域内の土砂災害危険箇所の補修	69	21
3. 気象情報や川の水位などの情報に注意	261	55
4. 防災資機材の整備・点検	174	35
5. 地域が孤立した時の食料等の備蓄・更新	19	2
6. 防災座談会・懇談会	134	14
7. あなたの地域の防災マップの作成	110	16
8. 以上のようなことはひとつもしていない	409	74



問 49 あなたの住んでいる地域では、次のような防災訓練をしていますか。この2～3年に行ったものをいくつでも選んで、○をしてください。

消火訓練は多くの自治会で実施されているが、その他の訓練の実施は少ない状況である。

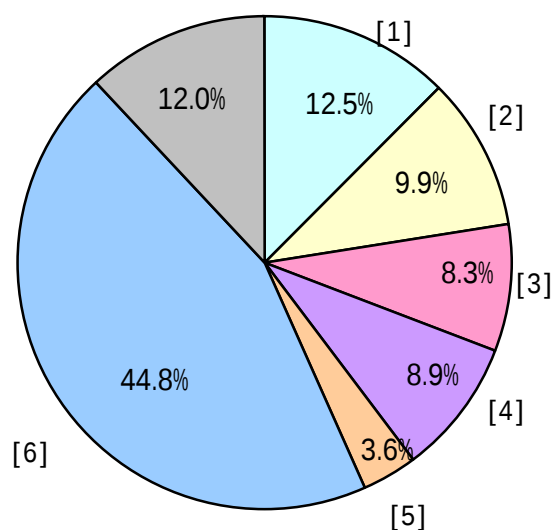
項 目	県全体	湖北圏域
1. 消火訓練	762	141
2. 土砂災害からの住民避難(誘導)訓練	93	34
3. 身体の弱い人を介護して避難する訓練	61	15
4. 応急救護訓練	197	28
5. 情報収集、伝達訓練	110	30
6. 炊きだし訓練	122	25
7. 土砂災害の図上訓練	38	3
8. 以上のようなことはひとつもしていない	191	31



問 50 これまで、土砂災害から住民が避難する訓練には、どれくらいの地区住民が参加していますか。あてはまるものにひとつ○をしてください。

約 4 割（44.8%）の自治会で、土砂災害に関する避難訓練ができていない。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 町内のほとんどの人が参加している	66	6.3%	24	12.5%
2. かなりの人が参加している	85	8.1%	19	9.9%
3. 約半分の人が参加している	69	6.6%	16	8.3%
4. 住民の参加者は半分に満たない	112	10.7%	17	8.9%
5. 参加者はほとんど役員だけ	78	7.4%	7	3.6%
6. 避難訓練は実施していない	526	50.2%	86	44.8%
不明・無回答	112	10.7%	23	12.0%
計	1048	100.0%	192	100.0%

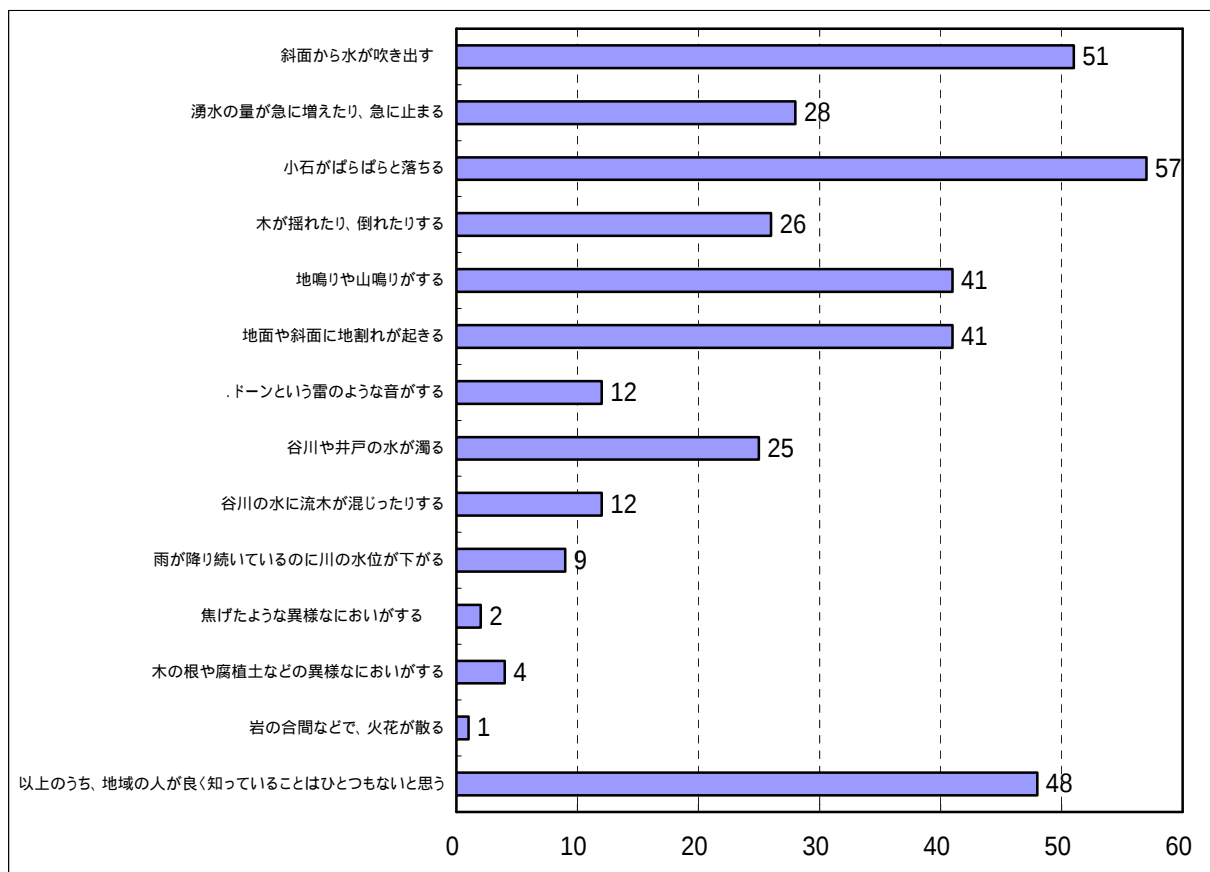


- [1] 町内のほとんどの人が参加している
- [2] かなりの人が参加している
- [3] 約半分の人が参加している
- [4] 住民の参加者は半分に満たない
- [5] 参加者はほとんど役員だけ
- [6] 避難訓練は実施していない
- 不明・無回答

問 51 地域内の土砂災害の危険がある地域に住んでいる人は、土砂災害が発生する前に起きる可能性がある前兆現象をよく知っていますか。下にあげた中で、住民の人がよく知っているものをいくつかでも○をしてください。

「小石がぱらぱら落ちる」「斜面から水が吹き出す」の順によく知られているが、25.0%の自治会では、地域の人が良く知っていることはひとつもないと回答している。

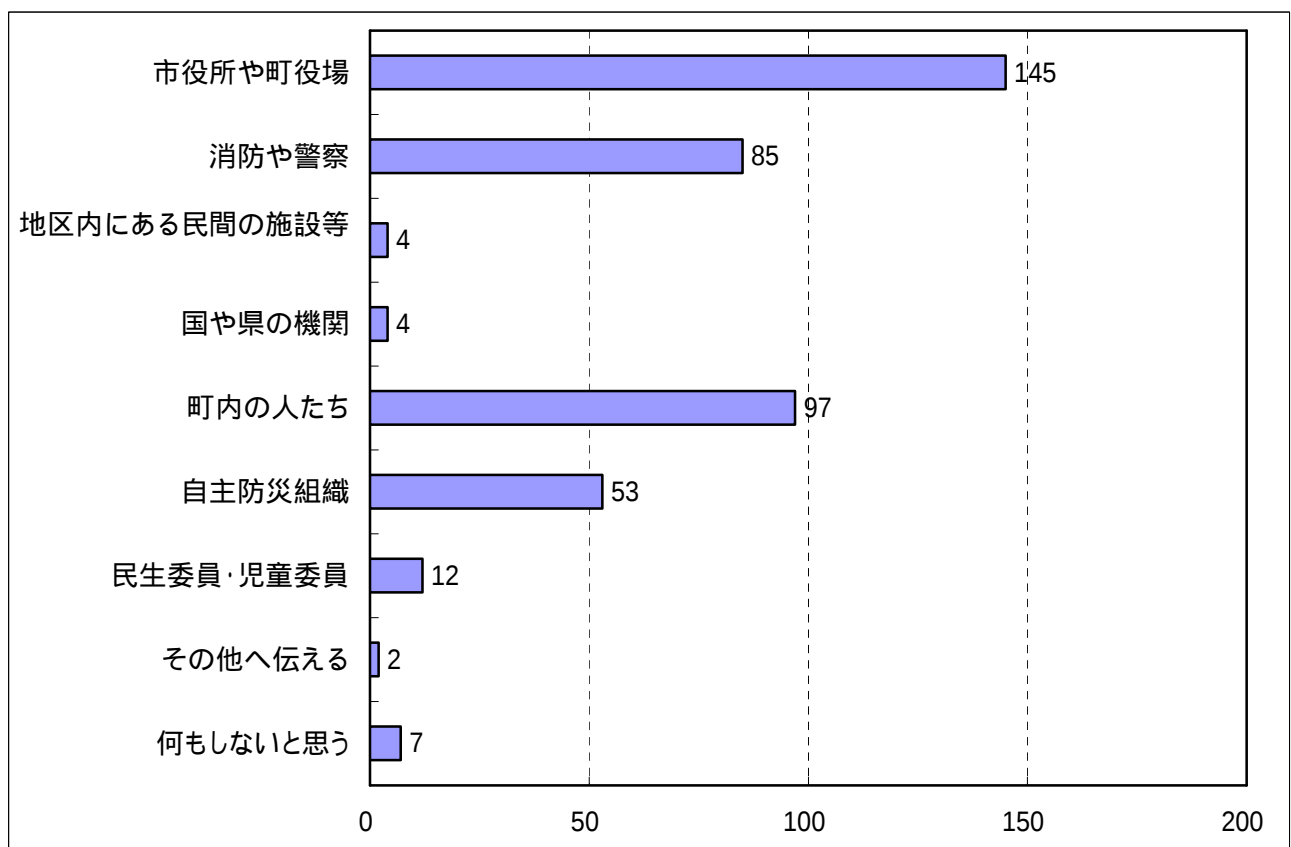
項 目	県全体	湖北圏域
1. 斜面から水が吹き出す	300	51
2. 湧水の量が急に増えたり急に止まる	154	28
3. 小石がぱらぱらと落ちる	278	57
4. 木が揺れたり倒れたりする	156	26
5. 地鳴りや山鳴りがする	159	41
6. 地面や斜面に地割れが起きる	204	41
7. ドーンという雷のような音がする	55	12
8. 谷川や井戸の水が濁る	120	25
9. 谷川の水に流木が混じったりする	81	12
10. 雨が降り続けているのに川の水位が下がる	43	9
11. 焦げたような異様なにおいがする	9	2
12. 木の根や腐植土などの異様な臭いがする	15	4
13. 岩の谷間などで火花が散る	4	1
14. 以上のうち地域の人がよく知っていることはひとつもないと思う	312	48



問 52 もしも、あなたご自身やあなたが住む町内の人々が、土砂災害が発生する前兆と思われる異常を発見したとき、行政や地区住民、地区内施設等へ情報を伝達すると思いますか。次のうち、あてはまるとされるものにいくつでも○をしてください。

75.5%の自治会が市役所や町役場に連絡すると回答している。また、町内の人たちに情報を伝えると答えた自治会の割合は50.5%である。

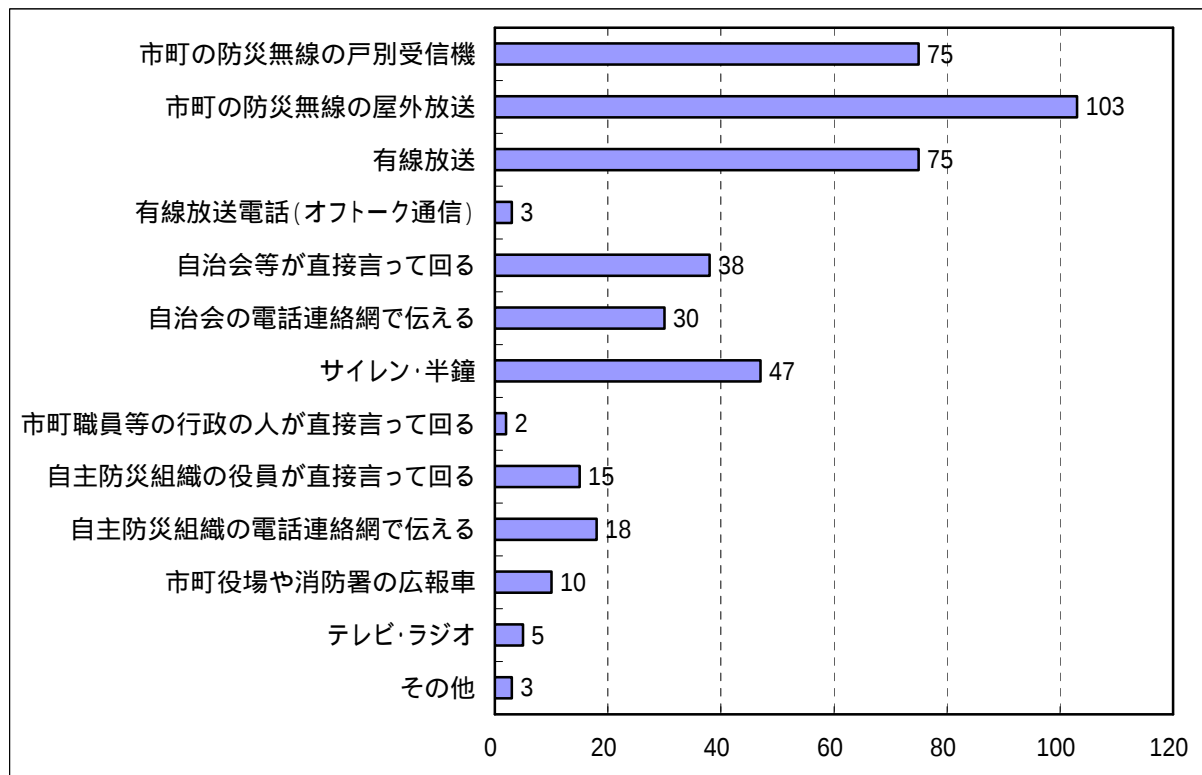
項 目	県全体	湖北圏域
1.市役所や町役場	779	145
2.消防や警察	538	85
3.地区内にある民間の施設等	19	4
4.国や県の機関	28	4
5.町内の人たち	515	97
6.自主防災組織	300	53
7.民生委員・児童委員	108	12
8.その他へ知らせる	21	2
9.何もしないと思う	29	7



問 53 あなたの町内の危険地区内に住んでいる人に、緊急に一斉に情報を知らせるための手段として、どのようなものを使うことになっていますか。使うと思われるものをすべて○をしてください。

防災無線の屋外放送や戸別受信機を使用する自治会が多く、自治会役員が直接言って回るところは少ない。

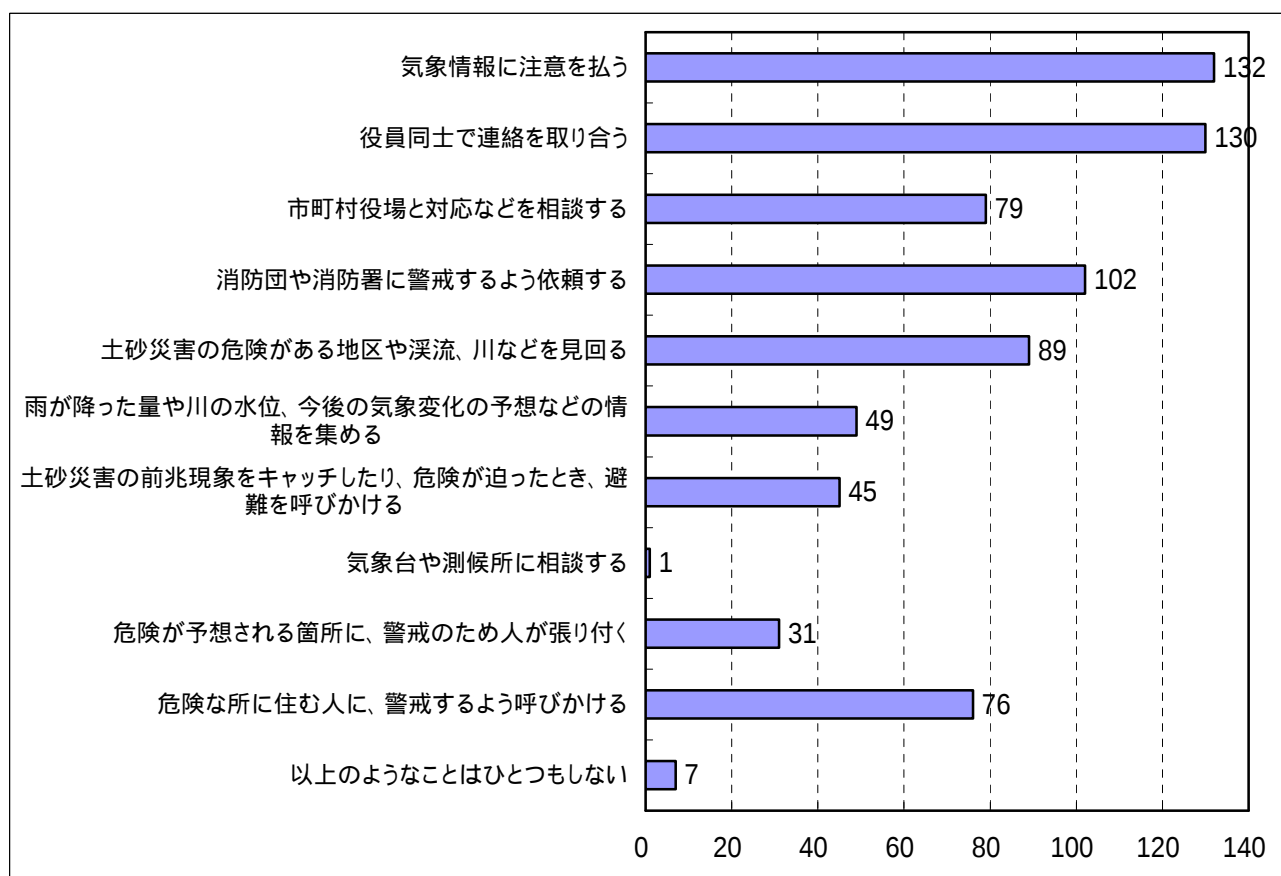
項 目	県全体	湖北圏域
1. 市町の防災無線の戸別受信機	191	75
2. 市町の防災無線の屋外放送	238	103
3. 有線放送	211	75
4. 有線放送電話(オフトーク通信)	59	3
5. 自治会等が直接言って回る	430	38
6. 自治会の電話連絡網で伝える	323	30
7. サイレン・半鐘	189	47
8. 行政の人が直接言って回る	19	2
9. 自主防災組織の役員が直接言って回る	192	15
10. 自主防災組織の電話連絡網で伝える	134	18
11. 市町役場や消防署の広報車	161	10
12. テレビやラジオ	40	5
13. その他	43	3



問 54 長雨が続きたり、雨が強まったりして危険が高まったとき、あなたの地域の住民組織ではどのようなことをしますか。下にあげた中で住民組織として行うと思われるものにすべて○をしてください。

対応項目としては、「気象情報に注意を払う」「役員同士で連絡を取り合う」「消防団や消防署に警戒を依頼する」の順となっている。

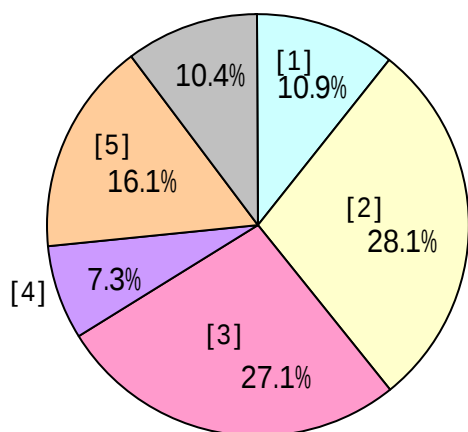
項 目	県全体	湖北圏域
1. 気象情報に注意を払う	718	132
2. 役員同士で連絡を取り合う	692	130
3. 市町村役場と対応などを相談する	436	79
4. 消防団や消防署に警戒するよう依頼する	508	102
5. 土砂災害の危険がある地区や溪流、川などを見回る	400	89
6. 雨が降った量や川の水位、今後の気象変化の予想などの情報を集める	244	49
7. 土砂災害の前兆現象をキャッチしたり、危険がせまった時、避難を呼びかける	238	45
8. 気象台や測候所に相談する	13	1
9. 危険が予想される箇所に、警戒のため人が張り付く	128	31
10. 危険なところに住む人に、警戒するよう呼びかける	412	76
11. 以上のようなことはひとつもしない	69	7



問 55 危険個所に住んでいる人たちは、土砂災害が起きる前の異常に気づき、土砂災害が起きる前に自分たちで自発的に避難すると思いますか。ひとつだけ○をしてください。

全員、または、ほとんどの人が自発的に避難するだろうと考えている自治会は約4割（39.0%）ある。

項目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 全員が誘い合って避難するだろう	137	13.1%	21	10.9%
2. ほとんどの人が自発的に避難するだろう	274	26.1%	54	28.1%
3. 自発的に避難する人は少ないだろう	253	24.1%	52	27.1%
4. 自発的に避難する人はほとんどいないだろう	83	7.9%	14	7.3%
5. わからない	211	20.1%	31	16.1%
不明・無回答	90	8.6%	20	10.4%
計	1048	100.0%	192	100.0%

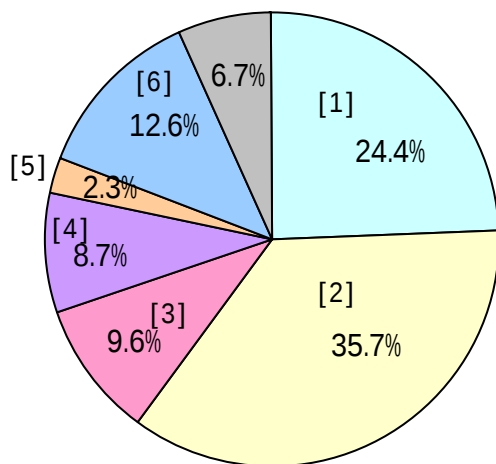


- [1] 全員が誘い合って避難するだろう
- [2] ほとんどの人が自発的に避難するだろう
- [3] 自発的に避難する人は少ないだろう
- [4] 自発的に避難する人はほとんどいないだろう
- [5] わからない
- 不明・無回答

問 56 土砂災害の危険性が高まり、地域のリーダーが危険地区の人に避難を呼びかけたとき、どのくらいの方が避難に応じてくれると思いますか。ひとつだけ○をしてください。

ほとんど、または、かなりの住民が避難してくれると考えている自治会は約 6 割（65.1%）ある。

項目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. ほとんど全員が避難してくれる	256	24.4%	56	29.2%
2. かなりの住民が避難してくれる	374	35.7%	69	35.9%
3. 半分くらいの住人が避難してくれる	101	9.6%	13	6.8%
4. 避難する人は少ないだろう	91	8.7%	13	6.8%
5. 避難する人はほとんどいないだろう	24	2.3%	4	2.1%
6. よくわからない	132	12.6%	19	9.9%
不明・無回答	70	6.7%	18	9.4%
計	1048	100.0%	192	100.0%

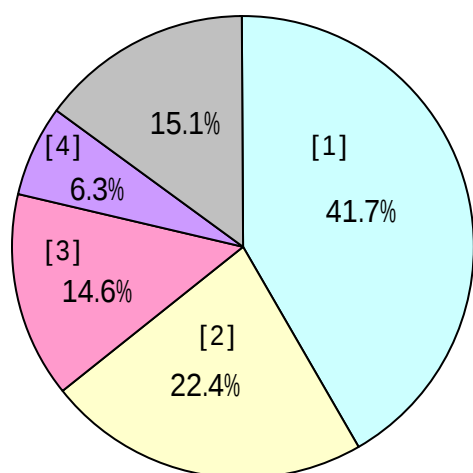


- [1] ほとんど全員が避難してくれる
- [2] かなりの住民が避難してくれる
- [3] 半分くらいの住民が避難してくれる
- [4] 避難する人は少ないだろう
- [5] 避難する人はほとんどいないだろう
- [6] よくわからない
- 不明・無回答

問 57 土砂災害の危険が高まり避難することになったとき、安全な避難路を通して、安全な避難場所に行くことはできますか。ひとつだけ○をしてください。

避難路に危険があると考えている自治会が約 2 割（20.9%）ある。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 近くの安全な避難所に、安全な避難路を通して行ける	491	46.9%	80	41.7%
2. 安全な避難所までは遠いが、安全な避難路を通して行ける	209	19.9%	43	22.4%
3. 近くに安全な避難所があるが、避難路には危険がある	131	12.5%	28	14.6%
4. 安全な避難所まで遠く、避難路にも危険がある	90	8.6%	12	6.3%
不明・無回答	127	12.1%	29	15.1%
計	1048	100.0%	192	100.0%

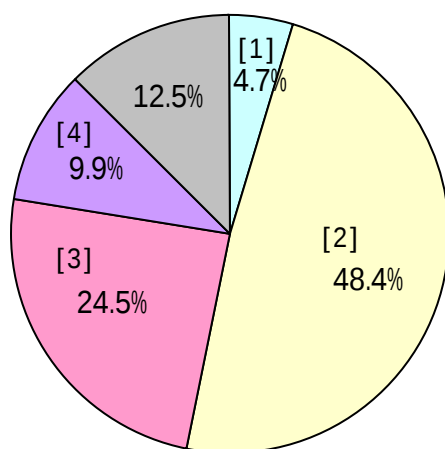


- [1] 近くの安全な避難所に、安全な避難路を通して行ける
- [2] 安全な避難所までやや遠いが、安全な避難路を通して行ける
- [3] 近くに安全な避難所があるが、避難路には危険がある
- [4] 安全な避難所まで遠く、避難路にも危険がある
- 不明・無回答

問 58 土砂災害の危険がある地区内に、隣近所の人を手助けしないと避難できない方（福祉関連施設も含む）を、あなたの住民組織で避難させる態勢はできていますか。ひとつだけ○をしてください。

約 1 割（9.9％）の自治会では、ほとんど実態をつかんでいない。
また、「避難体制がまったくない」自治会の割合は 24.5％である。

項 目	県全体		湖北圏域	
	人数	割合	人数	割合
1. 誰がどの人を避難させるか、ほぼ決まっている	32	3.1%	9	4.7%
2. 避難させる人は決まっていないが、地域内の誰かが必ず助けに行く態勢はある	464	44.3%	93	48.4%
3. 避難体制はまったくない	298	28.4%	47	24.5%
4. 介護が必要な人がどれくらいいるか、ほとんど実態をつかんでいない	150	14.3%	19	9.9%
不明・無回答	104	9.9%	24	12.5%
計	1048	100.0%	192	100.0%



- [1] 誰がどの人を避難させるか、ほぼ決まっている
- [2] 避難させる人は決まっていないが、地域内の誰かが必ず助けに行く態勢はある
- [3] 避難態勢はまったくない
- [4] 介護が必要な人がどれくらいいるか、ほとんど実態をつかんでいない
- 不明・無回答